

第56回

全日本居合道大会

都道府県対抗優勝試合



令和3年10月9日(土)

午前9時開会

東京武道館

主催／公益財団法人 全日本剣道連盟

主管／一般財団法人 東京都剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

第56回 全日本居合道大会 日程表

全日本剣道連盟

種 目	摘 要	時 間	所要時間
-----	-----	-----	------

10月8日(金)

審 判 会 議	東 京 武 道 館	15 : 00 ~ 16 : 30	1.30
監 督 会 議	〃	16 : 30 ~ 17 : 30	1.00

10月9日(土)

係 員 集 合	東 京 武 道 館	7 : 30	
監督・選手集合		8 : 10	
個人演武者受付		8 : 40	
役員・審判員集合		9 : 00	
監督・選手整列		9 : 15	
役員・審判員整列		9 : 20	
開 会 式		9 : 25 ~ 9 : 45	0.20
試 合 1 回 戦	3 試 合 場 (各 15 試 合)	10 : 00 ~ 11 : 30	1.30
試 合 2 回 戦	3 試 合 場 (各 16 試 合)	11 : 30 ~ 13 : 05	1.35
試 合 3 回 戦	3 試 合 場 (各 8 試 合)	13 : 05 ~ 13 : 55	0.50
試 合 4 回 戦	3 試 合 場 (各 4 試 合)	13 : 55 ~ 14 : 20	0.25
個 人 演 武	五 段 ・ 六 段 ・ 七 段 の 部	14 : 25 ~ 15 : 05	0.40
試合準決勝戦	3 試 合 場 (各 2 試 合)	15 : 10 ~ 15 : 25	0.15
試合決勝戦	3 試 合 場 (各 1 試 合)	15 : 25 ~ 15 : 35	0.10
個 人 演 武	八 段 ・ 範 士 の 部	15 : 40 ~ 16 : 25	0.45
閉 会 式	表 彰	16 : 30 ~ 16 : 50	0.20

* 1 試合を約 6 分で計算。決勝戦のみ10分で計算。

* 個人演武は 1 回約 7 分で計算。5 回ずつ。

大会次第

開会式

- (1) 役員・審判・選手整列
- (2) 国歌斉唱
- (3) 優勝旗返還
- (4) 主催者挨拶 全日本剣道連盟 会長 稲 川 泰 弘
- (5) 来賓祝辞
- (6) 歓迎のことば 東京都剣道連盟 会長 千 葉 胤 道
- (7) 関係者紹介
- (8) 試合場の注意ならびに指定技発表 審判長 中 村 正 人
- (9) 監督・選手退場

試 合

1 回戦～4 回戦

個人演武

五段・六段・錬士・教士の一部

試 合 (準決勝戦・決勝戦)

七段の部 (第 1 試合場)

六段の部 (第 2 試合場)

五段の部 (第 3 試合場)

個人演武

教士の一部・範 士

閉会式

- (1) 役員・審判・選手整列
- (2) 成績発表ならびに表彰
- (3) 閉会挨拶
- (4) 退場

挨拶



公益財団法人 全日本剣道連盟

会長 稲川 泰弘

紅葉の季節、全国各地から居合道の精鋭剣士を迎え、第56回全日本居合道大会が、東京武道館において開催されるに当たり、ご挨拶申し上げます。コロナ禍ではございますが、皆さまのご協力により大会が開催できますことに深く感謝申し上げます。

居合道は申すまでもなく、日本刀を手にして、刀の操法と、静と動、機に応じての身体運用の修錬を通して人間形成を図るものであり、剣道とは表裏一体の関係にあります。

全日本剣道連盟では、統一された形の制定の要望に応え、昭和44年に古流各流派から基本的な技を抜き出し、全日本剣道連盟居合として7本の形を制定、その後、昭和54年に3本を、平成13年には更に2本を追加し、剣居一体の普及の実を挙げることを目指しています。

コロナ禍という厳しい状況ではございますが、居合道愛好者は、昨年1年間に587名の方が初段を取得されております。今後も有段者や愛好者が増加することを期待しております。

本大会は、各都道府県より選抜された3名の対抗試合を中心に、多数の参加者による個人演武も併せて行われ、参加者相互の親睦を深める機会ともなり、居合道の益々の発展に寄与するものであります。ご出場の皆様には、日頃錬磨された成果を発揮され、日本の居合道の一翼を担われることを希望します。

終りに、本大会開催にあたり、主管の労をとられました東京剣道連盟に対し、衷心より感謝の意を表しご挨拶といたします。

歓迎のことば



一般財団法人 東京都剣道連盟

会 長 千 葉 胤 道

このたび、「第56回全日本居合道大会 一都道府県対抗優勝試合一」が、ここ東京武道館において盛大に開催されることは、主管連盟として誠に光栄であり、東京都剣道連盟一同心から歓迎し、祝福を申し上げます。

本大会に出場される選手の皆様は、各都道府県の厳しい予選を勝ち抜かれた精鋭であり、深く敬意を表します。日頃修練された稽古の成果を存分に発揮され、気迫に満ちた内容の濃い演武を期待するとともに参加者相互の交流と親睦を深め、心に残る素晴らしい大会になることを切に願っています。

居合道は日本固有の伝統文化である武道であり、誇りと品格をもっています。日々の修練によって心技体一致を目指し、人間形成を目的としています。また、居合道の良さを海外におきましても評価され、愛好者が年々増加しておりますことはご同慶の至りであります。

今後とも居合道の益々の発展と居合道人のご活躍を祈念申し上げます。

結びにあたり、本大会開催のために、審判の労をいただく諸先生、多大なご尽力を賜りました大会役員並びに関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

関係役員名簿

大会会長

稲川泰弘

大会副会長

網代忠宏

真砂威

神谷明文

千葉胤道

大会顧問

伊藤元明
福本修二

上田憲幸

奥島快男

児島克

大嶽將文
小坂達明
鈴木康生
三宅一志

小倉昇
椎屋光男
中田琇士
目黒大作

忍足功
島野泰山
藤井稔

梯正治
末平佑二
宮川英俊

宮坂昌之

宮坂信之

大会参与

増田知幸
長谷川弘一
山中茂樹
南信廣
吉村勝明
伊吹文一郎
河野修一
岸田和秋
藤川部正定
安親川光俊
西川清紀
寺地賢二郎

安部美智雄
小倉培夫
小林英雄
小牧稔彦
堤俊作
長榮周一郎
山本弘伸
高木俊彦
青柳方正
尾方健一郎
太田成子
吉岡成子

小笠原宏志
白石正範
渡邊宏一
片山外一
岡田一義
吉田克法
林正悦夫
三江原良介
橋口光博
久保木優昭
右田重昭

井上雅勝
小林一行隆
浅原瀬浩雄
加中野正明
世耕正弘堂
中野耕正成
俊西野徹章
松尾博人行
俣木正喜
伊藤繁男
原嶋茂樹

大会委員長

中谷行道

大会副委員長

草間純市

大会委員

上浦かなえ
篠原政美
藤原崇郎
青山彩子
榊寿一
奈良隆彦
脇本幸篤
吉田篤生

軽米満世
内藤常男
舟木隆恒
岡嶋秀一
寫末雅行
濱口雅三
渡邊三則

香田郡秀
長尾田進
蒔田実治
加藤治造
下山川祐造
安保村勝弘
安保洋子

佐藤厚子
濱崎満
水田重則
栗崎敬一
相馬建男
吉田博光明
小風

実行委員長

安部壽和

実行副委員長

猪狩保光

青木孝

高沢彰

松原徹

実行委員

小林晋一
斎藤諒

加古恵
松浦千恵

高橋嶺
伊藤豊

長濱直弥

居合道委員

勝瀬文孝
中村正人

國方孝之
無津呂弘之

桑田孝博
山崎明正

佐々木幹彦

大会審判団

審判長 範士中村正人

審判員 第1試合場（七段の部） 主任 範士小笠原正幸

1組	{	範士佐々木幹彦	2組	{	範士原田一廣
		教士金田和久			教士品田峯雄
		教士山崎明正			教士森島一機

第2試合場（六段の部） 主任 範士立野忠男

1組	{	範士光行良一	2組	{	教士水野隆
		教士仲田昌司			教士畠中篤美
		教士参川憲昭			教士勝瀬文孝

第3試合場（五段の部） 主任 範士木村幸比古

1組	{	範士清田邦昭	2組	{	教士平野政弘
		教士小堀康之			教士山田博
		教士小野澤隆一			教士桑田孝博

指定技

第1回戦より第4回戦まで

五段の部

六段の部

七段の部

準決勝戦および決勝戦

五段の部

六段の部

七段の部

競 技 役 員

競技委員長

平澤 利明

競技副委員長

市川 学

総務係

古川 茂一

経理係

高橋 まゆ

受付係

主任

山口 敏

畠中 恵

松迫 拓朗

柳 徹

土屋 知子

上田沙央里

高橋 まゆ

阪口 裕子

接待係

主任

小野 桃子

高平とよ子

堀内 玲子

森田有花里

放送係

榊 里美

佐藤 利子

表彰係

土屋 知子

古川 茂一

上田沙央里

阪口 裕子

広報係

木原 敏明

救護係

山田 英明

誘導係

主任

椿 二三夫

清水 進

島 博範

関根 康幸

橋本 政美

吉田 由美

三浦 康典

飯田 稔

友国 敬三

大野 吉紀

鬼久保信夫

羽田 順一

深井 宏

田村 岳洋

今西 辰夫

高城 剛

小川 武司

諏訪山玲似子

塚本智恵子

森本 仁

佐々木 力

滝沢 貴典

福田 哲夫

鈴木 豊

電算係

主任

斎数 真人

渡邊 聡

早坂 明哲

中野 広輔

三幣 晃裕

個人演武係

島 博範

山口 敏

三浦 康典

柳 徹

設営係

飯田 稔

会場係

第一試合場

主任

畠中 恵

副主任

岡本 宣士

小澤 一也

高木 克浩

西浦 誠

藤原 裕也

海寶 丈彰

高田 祥生

第二試合場	主 任	板 垣	賢				
	副主任	山 田	耕				
		堀 江	勝 大	塚 田 幸 一	柴 田 誠	田 川 祐 樹	
		田 島	久 和	石 垣 雄 太 朗			
第三試合場	主 任	松 迫	拓 朗				
	副主任	山 田	学				
		福 見	健 治	一 宮 竜 太	小 湊 芳 晴	中 村 彦 佑	
		福 永	靖 史	竹 藪 久 未			

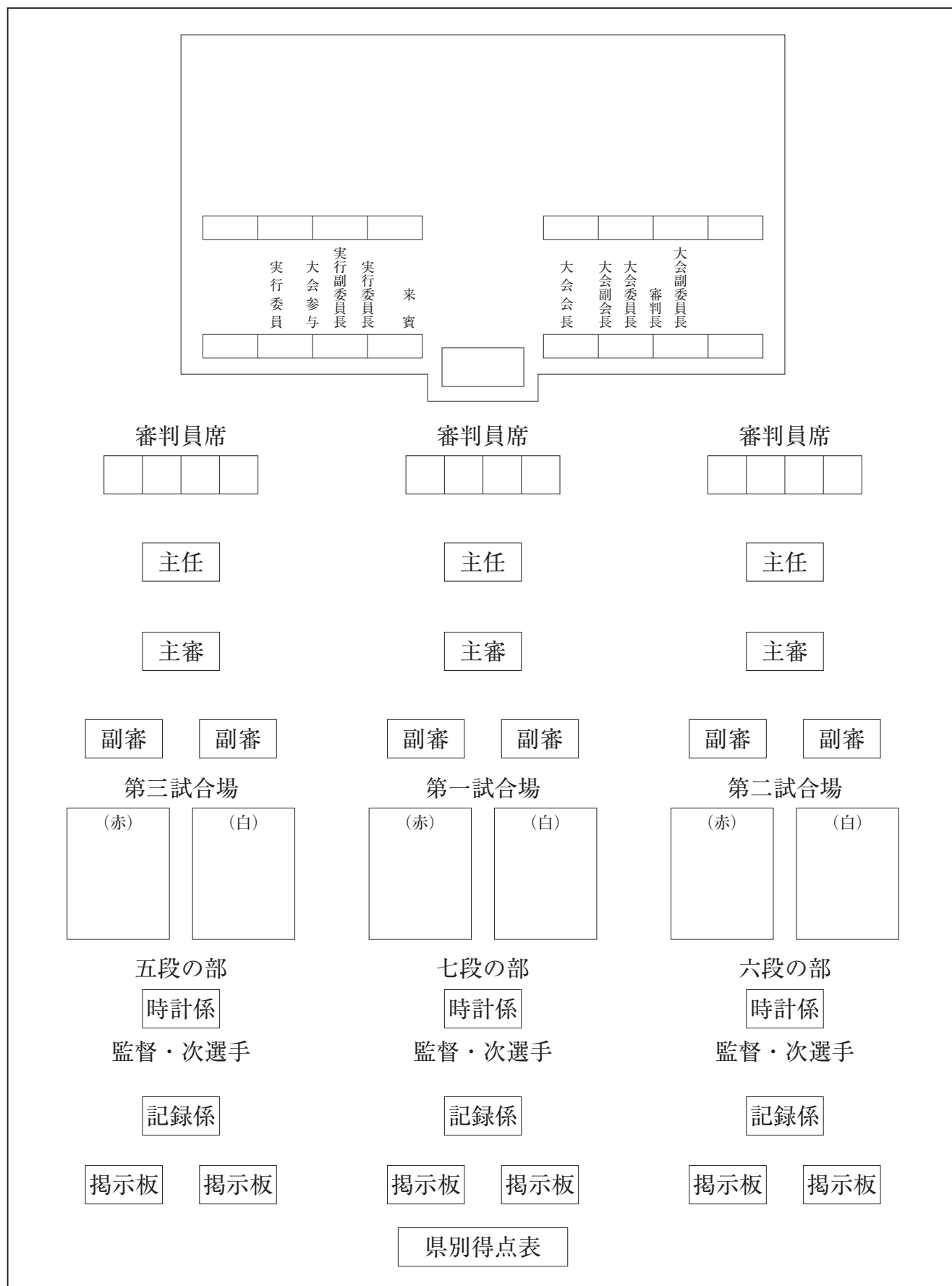
開会式整列配置図

役員・審判員席

滋 三 岐 愛 静 長 福 富 石 新 山 神 千 埼 群 枋 茨 福 宮 岩 山 秋 青 北
 賀 重 阜 知 岡 野 井 山 川 潟 梨 奈 葉 玉 馬 木 城 島 城 手 形 田 森 海
 川
 県 道

東 沖 鹿 宮 長 熊 大 佐 福 徳 高 愛 香 島 鳥 山 広 岡 兵 和 奈 大 京
 京 縄 児 崎 崎 本 分 賀 岡 島 知 媛 川 根 取 口 島 山 庫 歌 良 阪 都
 島
 都 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 府 府

大会会場見取図



都道府県対抗優勝試合「七段の部」組み合わせ

1	松	武	人	(静	岡)				
2	齋	健	一	(茨	城)				
3	町	宗	光	(沖	縄)				
4	船	な	子	(島	根)				
5	和	拒	鷹	(滋	賀)				
6	岡	伸	誠	(岡	山)				
7	大	泰	和	(新	潟)				
8	古	眞	弘	(群	馬)				
9	塚	俊	一	(熊	本)				
10	横	佳	高	(香	川)				
11	中	禮	洋	(山	形)				
12	原	晋	渡	(神	奈				
13	平	幹	道	(長	崎)				
14	中	幹	吾	(大	阪)				
15	甲	浩	渉	(愛	知)				
16	小	誠	順	(岩	手)				
17	宮	義	義	(長	野)				
18	宮	義	吾	(広	島)				
19	百	孝	新	(佐	賀)				
20	小	哲	哉	(和	歌				
21	萩	真	康	(山	梨)				
22	佐	恵	聡	(福	島)				
23	久	一	聡	(愛	媛)				
24	宇	暢	夫	(三	重)				
25	久	将	夫	(山	口)				
26	吉	友	澄	(東	京)				
27	吉	・	美	(富	山)				
28	浅	修	夫	(鹿	児				
29	中	洋	幸	(秋	田)				
30	根	ハ	傑	(宮	城)				
31	佐	イ	孝	(千	葉)				
32	池	コ	ウ	(京	都)				
33	ブ	洋	二	(福	岡)				
34	ラ	敏	祐	(石	川)				
35	和	将	進	(高	知)				
36	ビ	正	夫	(奈	良)				
37	ット	恒	和	(福	井)				
38	マン	隆	夫	(徳	島)				
39	井	幹	夫	(大	分)				
40	川	智	宏	(埼	玉)				
41	本	富	彦	(北	海)				
42	光	夏	満	(道	森)				
43	井	稔	久	(青	取)				
44	立		子	(鳥	木)				
45	田		女	(栃	崎)				
46	岡		博	(宮	阜)				
47	木			(岐	庫)				
	山			(兵					
	澤								
	原								
	子								
	盆								

都道府県対抗優勝試合「六段の部」組み合わせ

1	坂安石	本藤塔内	直和	樹希実	(兵庫)				
2	安石	塔内	久烈	希実	(香川)				
3	竹井	内手	嘉太	実朋	(東京)				
4	井櫻	手井	有紀	朋郎	(岡山)				
5	二川	木村	正稜	江人	(福岡)				
6	中大	野田	安	文江	(山口)				
7	玉石	利橋	徹浩	真稔	(石川)				
8	岩戒	男能	治	稔夫	(岩手)				
9	田玉	中田	英直	剛史	(奈良)				
10	戸村	村松	潔芳	幸剛	(静岡)				
11	福山	田本	伸孝	絢三	(鹿児島)				
12	塚渡	原辺	匡	学季	(京都)				
13	松砂	井川	世志	季人	(長崎)				
14	佐浅	藤野	旭良	人美	(広島)				
15	古中	木山	大	幸幸	(山形)				
16	梶満	谷壽	雄知	直元	(愛媛)				
17	草齊	間木	知子	一雄	(埼玉)				
18	甲松	斐本	功幸	弘治	(山梨)				
19	吉吉	原田	真篤	志生	(福島)				
20	田小	中田	秀真	史介	(和歌山)				
21	松橋	浦本	祐美	章介	(富山)				
22	山上	本口	佳慶	子学	(岐阜)				
23	前亀	原田	慶朋	潤一	(熊本)				
24	齋大	井藤		彦典	(栃木)				
25	瀧	倉澤		志夫	(青森)				
26		澤		枝作	(愛知)				
27				和男	(大分)				
28				未	(賀根)				
29					(島根)				
30					(徳島)				
31					(新潟)				
32					(千葉)				
33					(宮城)				
34					(宮城)				
35					(鳥取)				
36					(大阪)				
37					(長野)				
38					(北海道)				
39					(三重)				
40					(茨城)				
41					(佐賀)				
42					(沖縄)				
43					(奈良)				
44					(高知)				
45					(福岡)				
46					(秋田)				
47					(群馬)				

都道府県対抗優勝試合「五段の部」組み合わせ

1	久保寺	一将	浩人	(山梨)				
2	村上	将	気明	(大分)				
3	中川	将	明	(滋賀)				
4	須藤	雅	衛	(香川)				
5	佐藤	善	信	(新潟)				
6	宇治田		亮	(和歌山)				
7	山本	正	悠	(静岡)				
8	花本		泰	(鳥取)				
9	中本	有	成	(沖縄)				
10	大滝	正	子	(埼玉)				
11	大須	有	洋	(福島)				
12	奈辻	正	樹	(宮崎)				
13	辻宮	幸	平	(三重)				
14	林逸	憲	悟	(長島)				
15	中見		勉	(青森)				
16	西村	達	哉	(千葉)				
17	村上	真	人	(石川)				
18	末次	精	二	(京都)				
19	佐藤	弘	一	(佐賀)				
20	山木	信	也	(栃木)				
21	佐々木	師	正	(徳島)				
22	西川		淳	(岩手)				
23	沼澤	貴	都	(愛知)				
24	椿山	康	之	(秋田)				
25	藤本	幹	夫	(岡山)				
26	桜井	仁	文	(奈良)				
27	緒方	隆	士	(茨城)				
28	田中	和	博	(熊本)				
29	畑山	伸	明	(東京)				
30	松元	和	也	(高知)				
31	三富	秀	昭	(鹿児島)				
32	正木	文	靖	(北海道)				
33	長谷川		智	(島根)				
34	畑中	翔	平	(福岡)				
35	菅野	健	佑	(長崎)				
36	リチャード・ストーネル		進	(山形)				
37	福田	大	樹	(兵庫)				
38	吉村	典	久	(山口)				
39	栗本		英	(群馬)				
40	宇都本	孝	夫	(岐阜)				
41	山本	汐	来	(愛媛)				
42	渡邊	王	志	(神奈川)				
43	大場	友	裕	(宮城)				
44	横井	篤	史	(大阪)				
45		拓	哉	(福岡)				
46								
47								

都道府県得点表

番号	都道府県	五段の部		得点	六段の部		得点	七段の部		得点	合計	総合順位
		選手名			選手名			選手名				
1	北海道	三 富 文 靖			小須田 幸 彦			足 立 隆 宏				
2	青森県	逸 見 勉			佐 藤 孝 雄			藤 田 幹 彦				
3	秋田県	沼 澤 康 之			大 倉 慶 人			根 本 暢 幸				
4	山形県	菅 野 進			田 中 絢			中 川 佳 洋				
5	岩手県	佐々木 淳			川 村 正 文			小 野 順				
6	宮城県	渡 邊 王 志			松 本 満知子			佐 藤 将 傑				
7	福島県	大 武 有 子			福 田 直 人			佐久間 聡				
8	茨城県	桜 井 隆 士			橋 本 篤 志			齋 藤 健 一				
9	栃木県	佐 藤 信 也			砂 川 伸 一			植 木 智 久				
10	群馬県	吉 村 典 久			瀧 澤 朋 未			古 澤 泰 弘				
11	埼玉県	大 滝 成 明			戸 村 学 実			永 井 恒 夫				
12	東京都	田 中 伸 明			石 塔 章			吉 田 真 澄				
13	千葉県	中 西 達 哉			齊 木 章			池 沢 友 孝				
14	神奈川県	山 本 汐 来			中 野 稜 真			原 田 渡				
15	山梨県	久保寺 一 浩			村 松 英 季			萩 原 康				
16	新潟県	佐 藤 衛 人			草 間 大 介			大 西 伸 和				
17	石川県	西 村 眞 人			二 木 有紀江			ビットマン・ハイコ				
18	富山県	伊 井 拓 哉			塚 原 芳 幸			浅 岡 恵 美				
19	福井県	長谷川 翔 平			齋 藤 佳 男			松 本 敏 夫				
20	長野県	宮 澤 幸 平			田 中 功 一			宮 原 浩 義				
21	静岡県	山 本 亮			大 田 稔 弘			松 下 武 人				
22	愛知県	西 川 貴 都			浅 野 匡 弘			甲 斐 幹 渉				
23	岐阜県	栗 本 英			渡 辺 直 典			矢 澤 夏 女				
24	三重県	辻 洋 樹			松 浦 真 典			久 木 孝 夫				
25	滋賀県	中 川 将 気			中 山 貴世志			和 田 拒 鷹				
26	京都府	村 上 精 二			石 橋 剛			ブライヤー・ボウ				
27	大阪府	大 場 友 裕			吉 田 潤			中 島 晋 吾				
28	奈良県	藤 本 仁 文			前 田 祐 作			森 川 進				
29	和歌山県	宇治田 善 信			山 本 潔 美			小 島 義 哉				
30	兵庫県	リチャード・ストーネル			坂 本 直 樹			盆子原 稔 博				
31	岡山県	椿 山 幹 夫			竹 内 久 朋			岡 安 誠				
32	広島県	林 憲 悟			戒 能 浩 幸			宮 脇 誠 吾				
33	山口県	福 田 大 樹			櫻 井 嘉 人			吉 永 哲 夫				
34	鳥取県	花 田 悠			吉 原 学			大 岡 満				
35	島根県	正 木 智			梶 谷 旭 生			船 津 なが子				
36	香川県	須 藤 雅 明			安 藤 和 希			横 井 俊 高				
37	愛媛県	宇都本 孝 夫			玉 田 治 三			宇都宮 聡				
38	高知県	畑 山 和 也			亀 井 美 和			亀 井 洋 祐				
39	徳島県	山 田 師 正			満 壽 良 史			森 将 夫				
40	福岡県	横 田 篤 史			井 手 烈太郎			和 泉 修 二				
41	佐賀県	末 次 弘 一			山 口 秀 夫			百 武 新 道				
42	長崎県	畑 中 健 佑			岩 男 徹 史			平 禮 道				
43	大分県	村 上 将 人			古 木 治			徳 光 正 和				
44	熊本県	緒 方 和 博			松 井 元			塚 本 眞 一				
45	宮崎県	奈 須 正 洋			甲 斐 雄 介			金 山 富 子				
46	鹿児島県	松 元 秀 昭			玉 利 安 夫			中 村 一 夫				
47	沖縄県	中 本 正 泰			上 原 真理枝			町 田 宗 光				

団体の部

順 位	
第一位	
第二位	
第三位	

個人の部

順 位	五段の部	六段の部	七段の部
第一位	()	()	()
第二位	()	()	()

都道府県対抗優勝試合出場選手名簿

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
1	北海道	鈴木清志	三 富 文 靖		五段	S58. 9. 7	38	会 社 員
			小須田 幸 彦		六段	S36.12.15	59	会 社 員
			足 立 隆 宏	教士	七段	S50. 4.29	45	会 社 員
2	青森県	外 崎 憲 治	逸 見 勉		五段	S24. 2. 1	72	無 職
			佐 藤 孝 雄	錬士	六段	S40. 9.26	56	教 員
			藤 田 幹 彦	錬士	六段	S28. 7. 8	68	無 職
3	秋田県	千 田 信 治	沼 澤 康 之		五段	S38. 1.29	58	神 官
			大 倉 慶 人	錬士	六段	S27. 2.13	69	無 職
			根 本 暢 幸	錬士	六段	S29.11.30	66	教 員
4	山形県	鈴木清和	菅 野 進		五段	S27. 3.19	69	無 職
			田 中 絢		六段	S55. 1.27	41	会 社 員
			中 川 佳 洋	教士	七段	S49. 1.14	47	会 社 員
5	岩手県	三 浦 由紀夫	佐々木 淳		五段	S46.12.23	49	教 員
			川 村 正 文	錬士	六段	S30.11.26	65	団 体 職 員
			小 野 順	教士	七段	S44. 4.11	52	公 務 員
6	宮城県	庄 子 都代子	渡 邊 王 志		五段	S41. 9.10	55	医 師
			松 本 満知子	錬士	六段	S36.10.25	60	無 職
			佐 藤 将 傑	教士	七段	S46. 4. 8	50	教 員
7	福島県	澁 川 譲	大 武 有 子		五段	S42. 4.18	54	自 営 業
			福 田 直 人	錬士	六段	S46. 8.26	49	自 営 業
			佐久間 聡	錬士	七段	S53. 8.11	42	団 体 職 員
8	茨城県	伊 藤 政 敏	桜 井 隆 士		五段	S40. 1.17	56	自 営 業
			橋 本 篤 志	錬士	六段	S51. 9. 8	44	会 社 員
			齋 藤 健 一	教士	七段	S55. 8.23	40	会 社 員
9	栃木県	木 村 正 幸	佐 藤 信 也		五段	S38. 4.13	58	会 社 員
			砂 川 伸 一		六段	S39. 6.22	57	会 社 員
			植 木 智 久	教士	七段	S56. 6.22	40	会 社 員
10	群馬県	松 田 尚 男	吉 村 典 久		五段	S50. 8.23	45	会 社 員
			瀧 澤 朋 未	錬士	六段	S57. 3.12	39	会 社 員
			古 澤 泰 弘	錬士	七段	S45. 2. 6	51	教 員
11	埼玉県	松 本 保 典	大 滝 成		五段	H 2. 4.20	31	会 社 員
			戸 村 学	錬士	六段	S56. 7. 6	40	会 社 員
			永 井 恒 夫	教士	七段	S44. 4.13	52	会 社 員
12	東京都	伊 藤 繁 男	田 中 伸 明		五段	H 3. 2.24	30	公 務 員
			石 塔 実	錬士	六段	S44. 8.28	52	会 社 員
			吉 田 真 澄	教士	七段	S49. 9.27	47	会 社 員

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
13	千葉県	高橋 仁	中西 達 哉		五段	S46. 3.12	50	会 社 員
			斉 木 章	錬士	六段	S46. 8.16	50	公 務 員
			池 沢 友 孝	錬士	七段	S54. 4.18	42	会 社 員
14	神奈川県	中 西 英 樹	山 本 汐 来		五段	H 7. 7.24	26	大 学 職 員
			中 野 稜 真	錬士	六段	S57.11. 7	38	会 社 員
			原 田 渡	教士	七段	S50. 5. 6	46	大 学 職 員
15	山梨県	小 川 忠 彦	久保寺 一 浩		五段	S37. 8. 1	59	教 員
			村 松 英 季		六段	S44. 8.17	52	会 社 員
			萩 原 康	教士	七段	S43. 7.18	53	公 務 員
16	新潟県	今 井 恒 之	佐 藤 衛		五段	S33. 4. 3	63	会 社 員
			草 間 大 介		六段	H 3.11.29	29	会 社 員
			大 西 伸 和	錬士	七段	S57.10. 1	38	公 務 員
17	石川県	相 川 八 郎	西 村 真 人		五段	S61. 2.21	35	会 社 員
			二 木 有紀江		六段	S34. 8.18	62	会 社 員
			ビットマン・ハイコ	教士	七段	S39.11.14	56	大 学 教 員
18	富山県	布 目 大 剛	伊 井 拓 哉		五段	S62.11.13	33	会 社 員
			塚 原 芳 幸		六段	S28.12.10	67	無 職
			浅 岡 恵 美	教士	七段	S51. 5.23	45	会 社 員
19	福井県	大 嶋 雅 典	長谷川 翔 平		五段	H 1. 1.30	32	会 社 員
			齋 藤 佳 男		五段	S34. 7.26	62	会 社 員
			松 本 敏 夫	錬士	六段	S25. 5.12	71	自 営 業
20	長野県	横 山 和日光	宮 澤 幸 平		五段	S52.10.31	43	弁 護 士
			田 中 功 一	錬士	六段	S28. 3. 5	68	無 職
			宮 原 浩 義	教士	七段	S39. 1. 1	57	地方公務員
21	静岡県	佐 野 文 博	山 本 亮		五段	S51. 4.16	45	会 社 員
			大 田 稔	錬士	五段	S29. 3.18	67	会 社 員
			松 下 武 人	教士	七段	S50.10.11	45	公 務 員
22	愛知県	木ノ本 みゆき	西 川 貴 都		五段	H 8. 7.31	24	会 社 員
			浅 野 匡 弘	錬士	六段	S60. 5. 3	36	公 務 員
			甲 斐 幹 渉	教士	七段	S56.11.20	39	会 社 員
23	岐阜県	香 村 茂	栗 本 英		五段	S62. 1. 1	34	公 務 員
			渡 辺 直	錬士	六段	S43. 1.21	53	団 体 職 員
			矢 澤 夏 女	教士	七段	S32. 7.27	64	主 婦
24	三重県	早 川 雅 章	辻 洋 樹		五段	S40.10.16	55	公 務 員
			松 浦 真 典	錬士	六段	S46. 3.10	50	会 社 員
			久 木 孝 夫	教士	七段	S24. 7. 4	72	無 職

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
25	滋賀県	門前正二	中川将気		五段	S60.12.14	35	会社員
			中山貴世志	錬士	六段	S27. 1.21	69	無職
			和田拒鷹	教士	七段	S21. 3. 7	75	無職
26	京都府	西川佳徳	村上精二		五段	S36.11.21	59	教員
			石橋剛	錬士	六段	S62. 4.14	34	会社員
			ブライヤー・ボウ	錬士	七段	S56. 4.15	40	自営業
27	大阪府	本郷雅昭	大場友裕		五段	S63. 7.18	33	警察官
			吉田潤	錬士	六段	S36. 2.18	60	会社員
			中島晋吾	錬士	七段	S52. 9.19	43	会社員
28	奈良県	松向寺通孝	藤本仁文		五段	S53. 8.23	43	教職員
			前田祐作	錬士	六段	S39.11.21	56	教員
			森川進	教士	七段	S38.11. 1	57	会社員
29	和歌山県	梶谷加代子	宇治田善信		五段	S31. 5. 5	65	団体職員
			山本潔美		六段	S54. 1.28	42	看護師
			小島義哉	教士	七段	S30. 3.30	66	会社員
30	兵庫県	小野一夫	リチャード・ストーネル		五段	S59.10.29	36	会社員
			坂本直樹	錬士	六段	S58. 2. 1	38	会社員
			盆子原稔博	教士	七段	S46.10.14	49	税理士
31	岡山県	山洪数則	椿山幹夫		五段	S62. 7.30	34	自営業
			竹内久朋	錬士	六段	S58.6.24	38	会社員
			岡安誠	教士	七段	S47.11.11	48	会社員
32	広島県	柏原啓壯	林憲悟		五段	S56. 7. 2	40	会社員
			戒能浩幸	錬士	六段	S42. 2.10	54	公務員
			宮脇誠吾	教士	七段	S45. 7.27	51	団体職員
33	山口県	國本哲也	福田大樹		五段	H 2. 5.18	31	団体職員
			櫻井嘉人		六段	S43. 1. 3	54	会社員
			吉永哲夫	錬士	七段	S47.10.25	48	会社員
34	鳥取県	高岡英明	花田悠		五段	S58. 8.19	38	教員
			吉原学		五段	S42. 2.29	54	会社員
			大岡満	錬士	七段	S30. 8.14	66	会社員
35	島根県	武永正範	正木智		五段	S31.12. 5	63	会社員
			梶谷旭生		六段	S51.12.15	43	会社員
			船津なが子	錬士	七段	S29.11.21	65	主婦
36	香川県	松崎哲雄	須藤雅明		五段	H 2. 7.31	31	会社員
			安藤和希	錬士	六段	S60. 2. 2	36	会社員
			横井俊高	教士	七段	S50. 6.18	46	会社員

番号	都道府県	監督	選手	称号	段位	生年月日	年齢	職業
37	愛媛県	白砂善太郎	宇都本 孝 夫		五段	S62. 6.26	34	会 社 員
			玉 田 治 三	錬士	六段	S42. 5.15	54	会 社 員
			宇都宮 聡	教士	七段	S46. 7.25	50	会 社 員
38	高知県	丸岡昭仁	畑 山 和 也		五段	H 3.12. 8	29	会 社 員
			亀 井 美 和	錬士	六段	S50. 1. 6	46	主 婦
			亀 井 洋 祐	教士	七段	S48. 1.27	48	会 社 員
39	徳島県	一村昌和	山 田 師 正		五段	S45. 3.23	51	会 社 員
			満 壽 良 史	錬士	六段	S33. 6. 1	63	無 職
			森 将 夫	教士	七段	S20. 1. 1	76	無 職
40	福岡県	國方孝之	横 田 篤 史		五段	S59. 2.20	37	公 務 員
			井 手 烈太郎	錬士	六段	S55. 4. 8	41	公 務 員
			和 泉 修 二	教士	七段	S43. 8.14	53	自 営 業
41	佐賀県	平山好一	末 次 弘 一		五段	S36. 7.22	60	会 社 員
			山 口 秀 夫	錬士	六段	S20.10.17	75	無 職
			百 武 新	教士	七段	S22. 5.21	74	無 職
42	長崎県	高木志伸	畑 中 健 佑		五段	S60. 4.11	36	会 社 員
			岩 男 徹 史	錬士	六段	S47. 2.24	49	会 社 員
			平 禮 道	教士	七段	S27. 1. 2	69	自 営 業
43	大分県	久保純一	村 上 将 人		五段	S57. 8.15	39	会 社 員
			古 木 治	錬士	六段	S54.11.19	42	会 社 員
			徳 光 正 和	錬士	七段	S29. 3.28	67	農 業
44	熊本県	林田三也	緒 方 和 博		五段	S34. 4.25	62	公 務 員
			松 井 元	錬士	六段	S35.12.10	60	会 社 員
			塚 本 眞 一	錬士	七段	S51. 5.19	45	会 社 員
45	宮崎県	三宅 喬	奈 須 正 洋		五段	S26.11.21	69	会 社 員
			甲 斐 雄 介	錬士	六段	S57. 8. 4	39	自 営 業
			金 山 富 子	教士	七段	S40. 7.10	55	主 婦
46	鹿児島県	小田原 隆 義	松 元 秀 昭		五段	S30. 9. 5	65	無 職
			玉 利 安 夫	錬士	六段	S22. 6.15	74	無 職
			中 村 一 夫	教士	七段	S28. 8.16	68	無 職
47	沖縄県	仲井間 憲 亮	中 本 正 泰		五段	S34. 3.15	62	地方公務員
			上 原 真理枝	錬士	六段	S31. 5.31	65	会 社 員
			町 田 宗 光	錬士	七段	S16. 5. 6	80	無 職

個人演武出場者名簿

五 段

1	夢	想	神	伝	流	新	田	正	佳	神奈川県		
2	夢	想	神	伝	流	沖	野	祐	子	沖縄県		
3	夢	想	神	伝	流	齋	藤		勝	東京都		
4	夢	想	神	伝	流	阿	部	英	夫	東京都		
5	夢	想	神	伝	流	服	部	良	彦	東京都		
6	夢	想	神	伝	流	佐	藤	壽	世	新潟県		
7	夢	想	神	伝	流	大	谷	好	和	神奈川県		
8	夢	想	神	伝	流	仲	村	通	洋	千葉県		
9	夢	想	神	伝	流	中	島	佑	規子	埼玉県		
10	夢	想	神	伝	流	長	田		貢	神奈川県		
11	夢	想	神	伝	流	大	野	直	人	千葉県		
12	無	双	直	伝	英	信	流	中	山	直	紀	兵庫県
13	夢	想	神	伝	流	能	條	文	子	神奈川県		
14	夢	想	神	伝	流	篠	原		徹	東京都		
15	立	身		流	伊	藤	孝	幸		千葉県		
16	夢	想	神	伝	流	藤	田	多	麻江	千葉県		
17	田	宮		流	下	野		修		神奈川県		
18	夢	想	神	伝	流	伊	東	千	秋	東京都		
19	夢	想	神	伝	流	仁	尾	竜	大	埼玉県		
20	夢	想	神	伝	流	神	戸	伸	治	東京都		
21	夢	想	神	伝	流	岡	村	雅	弘	新潟県		
22	夢	想	神	伝	流	村	松	昭	宏	東京都		
23	神	刀		流	平	田	陽	介		埼玉県		
24	夢	想	神	伝	流	濱	名		宏	富山県		
25	夢	想	神	伝	流	安	藤	貞	男	埼玉県		
26	夢	想	神	伝	流	玉	手	博	子	埼玉県		
27	夢	想	神	伝	流	佐	生	誠	司	神奈川県		
28	夢	想	神	伝	流	佐	生	裕	子	神奈川県		
29	夢	想	神	伝	流	加	藤		勝	埼玉県		
30	夢	想	神	伝	流	千	葉	伸	樹	茨城県		

31	神	刀	流	平	田	智恵子	埼玉	県
32	夢	想	神	伝	流	君 島 直 樹	千葉	県
33	田	宮	流	渡	瀬	研 一	神奈川	県
34	夢	想	神	伝	流	松 川 正 博	東京	都
35	夢	想	神	伝	流	川 上 良 治	東京	都
36	夢	想	神	伝	流	落 合 祐 介	神奈川	県
37	夢	想	神	伝	流	谷 山 豪 祐	茨城	県
38	夢	想	神	伝	流	鈴 木 琴 子	茨城	県
39	夢	想	神	伝	流	松 本 健一郎	千葉	県
40	夢	想	神	伝	流	岡 本 一 巳	栃木	県
41	夢	想	神	伝	流	山 澤 義 明	千葉	県
42	夢	想	神	伝	流	串 橋 功	東京	都
43	夢	想	神	伝	流	吉 田 守	東京	都
44	夢	想	神	伝	流	鈴 木 和 洋	千葉	県
45	夢	想	神	伝	流	森 田 正 美	神奈川	県

六 段

46	夢	想	神	伝	流	佐	藤	昌	幸	東京都		
47	夢	想	神	伝	流	塩	谷	紀	子	富山県		
48	夢	想	神	伝	流	田	波	宏	視	栃木県		
49	夢	想	神	伝	流	松	尾	明	海	神奈川県		
50	夢	想	神	伝	流	小	野	祝	子	宮崎県		
51	夢	想	神	伝	流	大	塚	優	哉	神奈川県		
52	夢	想	神	伝	流	谷	川	久	郎	茨城県		
53	田		宮		流	高	柳	陽	一	石川県		
54	無	双	直	伝	英	信	流	白	坂	英	永	大阪府
55	夢	想	神	伝	流	雨	宮	優	子	神奈川県		
56	夢	想	神	伝	流	神	谷	昌	広	埼玉県		
57	夢	想	神	伝	流	古	屋	大	樹	埼玉県		
58	夢	想	神	伝	流	岩	田	卓	巳	埼玉県		
59	田		宮		流	早	川	浩	二	神奈川県		
60	夢	想	神	伝	流	酒	井	裕	子	千葉県		

61	夢 想 神 伝 流	杉 下 英 倫	新 潟 県
62	夢 想 神 伝 流	山 崎 茂	東 京 都
63	夢 想 神 伝 流	島 津 加奈子	広 島 県

錬士六段

64	夢 想 神 伝 流	木 村 圭 祐	東 京 都
65	夢 想 神 伝 流	太 田 修 司	東 京 都
66	夢 想 神 伝 重 信 流	片 山 富美子	茨 城 県
67	夢 想 神 伝 流	安 生 和 之	東 京 都
68	田 宮 流	西 内 和	神 奈 川 県
69	無 双 直 伝 英 信 流	高 橋 智 浩	京 都 府
70	夢 想 神 伝 流	石 塚 政 弘	茨 城 県
71	夢 想 神 伝 流	中 屋 ひとみ	千 葉 県
72	夢 想 神 伝 流	原 田 隆	東 京 都
73	無 双 直 伝 英 信 流	南 耕 平	京 都 府
74	夢 想 神 伝 流	三 好 勝	東 京 都
75	無 双 直 伝 英 信 流	兼 子 太 一	大 阪 府
76	夢 想 神 伝 流	市 川 廣 美	栃 木 県
77	夢 想 神 伝 流	佐 藤 恒 雄	宮 城 県
78	夢 想 神 伝 流	松 藤 由 朗	茨 城 県
79	夢 想 神 伝 流	青 木 四 郎	埼 玉 県
80	水 鷗 流	池 田 育 生	静 岡 県
81	夢 想 神 伝 流	浅 井 正 章	東 京 都
82	夢 想 神 伝 流	瀬 戸 山 浩 一	神 奈 川 県
83	無 双 直 伝 英 信 流	北 川 裕美子	石 川 県
84	無 双 直 伝 英 信 流	白 井 昌 広	大 阪 府
85	夢 想 神 伝 流	滋 野 雅 民	東 京 都
86	夢 想 神 伝 流	二 瓶 貴 博	茨 城 県
87	夢 想 神 伝 流	浜 中 涉	千 葉 県
88	夢 想 神 伝 流	石 塚 裕 子	神 奈 川 県
89	夢 想 神 伝 流	中 屋 義 孝	千 葉 県
90	夢 想 神 伝 流	河 合 聖	神 奈 川 県

91	夢 想 神 伝 流	磯 康 弘	埼 玉 県
92	夢 想 神 伝 流	森 和 生	神 奈 川 県
93	夢 想 神 伝 流	早 瀬 由美子	茨 城 県
94	夢 想 神 伝 流	牧 野 留美子	神 奈 川 県
95	夢 想 神 伝 流	江 口 俊 介	神 奈 川 県
96	夢 想 神 伝 流	幡 野 恵 子	神 奈 川 県
97	夢 想 神 伝 流	村 田 弘 美	神 奈 川 県
98	伯 耆 流	吉 口 晴 富	京 都 府
99	夢 想 神 伝 流	野 原 敏	茨 城 県
100	夢 想 神 伝 流	北 條 元 晴	埼 玉 県
101	水 鷗 流	深 澤 博 之	静 岡 県
102	夢 想 神 伝 流	大 竹 讓	埼 玉 県
103	夢 想 神 伝 流	岩 下 初 生	千 葉 県

錬士七段

104	夢 想 神 伝 流	相 馬 良 一	栃 木 県
105	夢 想 神 伝 流	日 下 りつ子	東 京 都
106	夢 想 神 伝 流	畠 信 代	神 奈 川 県
107	無 双 直 伝 英 信 流	木 阪 順 子	岡 山 県
108	夢 想 神 伝 流	鈴 木 順 子	神 奈 川 県
109	夢 想 神 伝 流	丹 澤 孝 之	山 梨 県
110	無 双 直 伝 英 信 流	川 口 伊都子	大 阪 府
111	無 双 直 伝 英 信 流	松 本 省 志	千 葉 県

教士七段

112	夢 想 神 伝 流	大 津 明 弘	神 奈 川 県
113	警 視 流	中 井 憲 治	東 京 都
114	伯 耆 流	矢 部 裕 城	京 都 府
115	夢 想 神 伝 流	須 田 美佐江	埼 玉 県
116	夢 想 神 伝 流	来 栖 利 枝	茨 城 県
117	夢 想 神 伝 流	津 田 勝	山 梨 県
118	夢 想 神 伝 流	平 岡 裕 樹	神 奈 川 県

119 夢想神伝流 田口陽二 埼玉県
 120 夢想神伝流 須賀重人 千葉県
 121 夢想神伝流 須永昌宏 神奈川県
 122 無 外 流 黒木教夫 大阪府
 123 夢想神伝流 多田羊一 神奈川県
 124 無双直伝英信流 一村昌和 徳島県
 125 夢想神伝流 氏平憲正 千葉県
 126 無双直伝英信流 高橋功次 東京都
 127 夢想神伝流 海東英和 滋賀県
 128 夢想神伝流 宗像純子 北海道
 129 無双直伝英信流 尾原文子 高知県
 130 夢想神伝流 須永良子 神奈川県
 131 夢想神伝流 泉水佑晃 神奈川県
 132 無双直伝英信流 岸本 卓 京都府
 133 夢想神伝流 長谷川悦子 北海道
 134 夢想神伝流 小川忠彦 山梨県
 135 夢想神伝流 佐野静枝 千葉県
 136 夢想神伝流 平子 清 千葉県
 137 夢想神伝流 川瀬 毅 千葉県
 138 無双直伝英信流 太田富美江 愛知県
 139 夢想神伝流 駒形健一 新潟県
 140 夢想神伝流 青木昭一 神奈川県
 141 夢想神伝流 井上吉勝 静岡県
 142 夢想神伝流 桜井伊津子 埼玉県
 143 夢想神伝流 渡辺千代子 栃木県
 144 夢想神伝流 古川昭夫 宮城県
 145 無双直伝英信流 齊藤宏晶 香川県
 146 田 宮 流 庄子都代子 宮城県
 147 夢想神伝流 志村勇岳 東京都
 148 夢想神伝流 三浦加容子 岩手県
 149 夢想神伝流 松山彰孝 東京都
 150 無双直伝英信流 山田 修 愛知県

151 無双直伝英信流 岡嶋 聡 京都府
 152 夢想神伝流 塚本哲也 茨城県
 153 夢想神伝流 若林正美 神奈川県
 154 双 水 執 流 伊藤 學 東京都
 155 夢想神伝流 島田秀男 山梨県
 156 夢想神伝流 馬場清治 福岡県
 157 夢想神伝流 額賀正次 東京都
 158 夢想神伝流 金子和臣 埼玉県
 159 夢想神伝流 横山和日光 長野県
 160 夢想神伝流 田村紀雄 北海道
 161 夢想神伝流 山口明生 山梨県
 162 夢想神伝流 木村正幸 栃木県
 163 夢想神伝流 石井貴和 茨城県
 164 無双直伝英信流 石原恵美子 岡山県
 165 夢想神伝流 三浦由紀夫 岩手県
 166 無双直伝英信流 菊池達也 愛媛県
 167 夢想神伝流 門前正二 滋賀県
 168 夢想神伝流 平舘勝紘 東京都
 169 夢想神伝流 小玉淑子 東京都
 170 夢想神伝流 本山善藏 福島県
 171 夢想神伝流 長谷川浩一 神奈川県
 172 新 陰 流 大島晴美 愛知県
 173 無双直伝英信流 河上龍介 京都府
 174 無双直伝英信流 松崎哲雄 香川県
 175 夢想神傳重信流 榊谷加代子 和歌山県
 176 夢想神伝流 高木得二 東京都
 177 夢想神伝流 小川昌夫 千葉県
 178 夢想神伝重信流 白井慶子 兵庫県
 179 夢想神伝流 高橋 仁 千葉県
 180 夢想神伝流 水澤紘之 神奈川県
 181 夢想神伝重信流 篠原武司 茨城県
 182 夢想神伝流 市村國子 茨城県

183 夢想神伝流 千田信治 秋田県
 184 無双直伝英信流 西川佳徳 京都府
 185 夢想神伝流 吉澤菊夫 東京都
 186 夢想神伝流 大島一晃 東京都
 187 夢想神伝流 高橋忠則 広島県
 188 無双直伝英信流 中島苑子 愛知県
 189 夢想神伝流 小池康夫 神奈川県
 190 夢想神伝流 井手綏子 広島県
 191 夢想神伝流 鈴木勝雄 埼玉県
 192 夢想神伝流 松田尚男 群馬県
 193 無外流 長澤秀明 大阪府

教士八段

194 無双直伝英信流 椎屋正文 兵庫県
 195 水鷗流 青木秀澄 静岡県
 196 無双直伝英信流 丸岡昭仁 高知県
 197 夢想神伝流 仲井間憲亮 沖縄県
 198 夢想神伝流 秋葉広行 千葉県
 199 無双直伝英信流 本郷雅昭 大阪府
 200 夢想神伝流 市川学 東京都
 201 夢想神伝重信流 川路俊博 福岡県
 202 夢想神伝流 糸田孝博 東京都
 203 水鷗流 勝瀬文孝 静岡県
 204 夢想神伝流 小宮山克巳 埼玉県
 205 無双直伝英信流 山洪数則 岡山県
 206 関口流 久保純一 大分県
 207 夢想神伝重信流 無津呂弘之 大阪府
 208 夢想神伝流 森島一機 神奈川県
 209 夢想神伝流 伊藤政敏 茨城県
 210 無双直伝英信流 國方孝之 福岡県
 211 夢想神伝流 松本保典 埼玉県
 212 夢想神伝流 金成利松 福島県

213 夢想神伝流 山田博 千葉県
 214 夢想神伝流 小野澤隆一 埼玉県
 215 無双直伝英信流 松本哲 兵庫県
 216 夢想神伝流 小堀康之 群馬県
 217 夢想神伝流 鈴木清和 山形県
 218 夢想神伝流 山崎明正 茨城県
 219 無双直伝英信流 畠中伸一 高知県
 220 伯耆流 山田源士 京都府
 221 無雙直傳英信流 長谷川善久 愛知県
 222 夢想神伝流 川村勝幸 北海道
 223 夢想神伝流 小田信秋 福岡県
 224 夢想神伝流 中西英樹 神奈川県
 225 無外流 伊藤繁男 東京都
 226 無双直伝英信流 畠中篤美 東京都
 227 夢想神伝流 仲田昌司 神奈川県
 228 夢想神伝流 佐藤忍 埼玉県
 229 夢想神伝流 品田峯雄 新潟県
 230 無双直伝英信流 小野一夫 兵庫県
 231 夢想神伝流 青木千利子 鹿児島県
 232 夢想神伝流 與島宏 千葉県
 233 無双直伝英信流 松田忠男 高知県
 234 夢想神伝流 金田和久 東京都
 235 無双直伝英信流 瀧順一 愛知県
 236 無双直伝英信流 大下政一 兵庫県
 237 夢想神伝流 古市典雄 神奈川県
 238 無双直伝英信流 白砂善太郎 愛媛県
 239 夢想神伝流 平野政弘 茨城県
 240 夢想神伝流 森重鎮男 山口県
 241 新陰流 水野隆 愛知県
 242 夢想神伝流 市村文康 茨城県
 243 警視流 伊藤知治 東京都

範士八段

244	夢想神伝流	原田一廣	山形県
245	夢想神伝流	清田邦昭	神奈川県
246	無双直伝英信流	光行良一	大阪府
247	夢想神伝流	佐々木幹彦	宮城県
248	無双直伝英信流	木村幸比古	京都府
249	無双直伝英信流	菅原久	京都府
250	無双直伝英信流	佐藤四十一	岡山県
251	夢想神伝流	横田清隆	北海道
252	夢想神伝流	立野忠男	茨城県
253	夢想神伝流	宮田忠幸	茨城県

254	無双直伝英信流	中村正人	石川県
255	夢想神伝流	小笠原正幸	山形県
256	夢想神伝流	久保正男	神奈川県
257	無双直伝英信流	森田忠彦	京都府
258	夢想神伝流	柳原弘文	東京都
259	夢想神伝流	小田原隆義	鹿児島県
260	夢想神伝流	井手友太	福岡県
261	夢想神伝流	上國料修一	鹿児島県
262	夢想神伝流	草間純市	新潟県
263	無双直伝英信流	三谷昭雄	高知県
264	夢想神伝流	迫野康雄	福岡県
265	夢想神伝流	小林忠雄	茨城県

全日本居合道大会栄光の記録

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 1 回 (昭和41年11月3日) 大 阪 府 大 阪 市 立 修 道 館	一位 大 阪 府 二位 茨 城 県 三位 岡 山 県	一位 山 渋 保 雄 二位 木 村 昌 二 三位 大 祢 一 郎	(岡 山 県) (大 阪 府) (茨 城 県)
第 2 回 (昭和42年9月10日) 東 京 都 日 本 武 道 館	一位 東 京 都 二位 大 分 県 三位 高 知 県	一位 田 中 實 二位 林 武 道 三位 佐 川 博 男	(東 京 都) (大 分 県) (東 京 都)
第 3 回 (昭和43年10月13日) 岐 阜 県 大垣スポーツセンター	一位 岐 阜 県 二位 山 口 県 三位 東 京 都	一位 冨ヶ原 冨 義 二位 森 十 郎 三位 佐々木 一 郎	(山 口 県) (岐 阜 県) (岐 阜 県)
第 4 回 (昭和44年10月5日) 山 口 県 山 口 県 立 体 育 館	一位 山 口 県 二位 岡 山 県 三位 大 分 県	一位 冨ヶ原 冨 義 二位 塩 川 成 照 三位 山 渋 吉 数	(山 口 県) (山 口 県) (岡 山 県)
第 5 回 (昭和45年11月3日) 大 阪 府 大 阪 市 立 修 道 館	一位 岡 山 県 二位 東 京 都 三位 神 奈 川 県	一位 田 中 實 二位 大 祢 一 郎 三位 山 渋 吉 数	(東 京 都) (茨 城 県) (岡 山 県)
第 6 回 (昭和46年11月7日) 香 川 県 香 川 県 立 体 育 館	一位 香 川 県 二位 山 口 県 三位 岡 山 県	七段 一位 鈴 木 庸 介 六段 二位 草 間 昭 盛 五位 一位 森 川 一 雄 二位 小 林 俊 彦 一位 河 口 生 二位 友 宗	(東 京 都) (新 潟 県) (香 川 県) (茨 城 県) (山 口 県) (大 阪 府)
第 7 回 (昭和47年9月3日) 東 京 都 目 黒 区 体 育 館	一位 広 島 県 二位 東 京 都 三位 山 口 県	七段 一位 佐 川 博 男 六段 二位 石 堂 定 太 五位 一位 河 中 俊 彦 二位 中 西 一 貢 一位 石 垣 一 男 二位 牧 村 幸 男	(東 京 都) (神 奈 川 県) (山 口 県) (広 島 県) (東 京 都) (広 島 県)

大会	団体試合成績	個人試合成績	(都道府県名)
第 8 回 (昭和48年 9 月15日) 北海道 札幌市中央体育館	一位 山口県 二位 大分県 三位 東京都	七段 一位 富ヶ原 義一 二位 古藤 健貴 六段 一位 藤河 俊志 二位 後上 政利 五段 一位 藤田 利彦 二位	(山口県) (東京都) (大分県) (山口県) (大分県) (大阪府)
第 9 回 (昭和49年11月 3 日) 静岡県 静岡市民体育館	一位 大分県 二位 東京都 三位 静岡県	七段 一位 山遠 正美 二位 高藤 貴志 六段 一位 藤後 政俊 二位 氏原 藤原 五段 一位 藤原 俊一 二位	(福岡県) (大分県) (東京都) (大分県) (大分県) (高知県)
第 10 回 (昭和50年11月 3 日) 大分県 別府市立別府商業高等学校体育館	一位 大阪府 二位 香川県 三位 北海道	七段 一位 香山 西好 二位 山奥 浜保 六段 一位 片貝 富亮 二位 七三 掛保 五段 一位 関五 弘夫 二位	(香川県) (岡山県) (北海道) (宮崎県) (神奈川県) (茨城県)
第 11 回 (昭和51年10月31日) 福島県 福島市霞町福島体育館	一位 山口県 二位 鹿児島県 三位 東京都	七段 一位 野瀬 田五郎 二位 戸口 孝彦 六段 一位 加藤 俊晴 二位 河佐 伯本 五段 一位 佐山 本治 二位	(高知県) (鹿児島県) (福島県) (山口県) (山口県) (広島県)
第 12 回 (昭和52年10月30日) 広島県 宮島町宮島中学校体育館	一位 大分県 二位 広島県 三位 愛媛県	七段 一位 三谷 浦正 二位 加藤 文政 六段 一位 後藤 藤彦 二位 山本 治人 五段 一位 青木 孝彦 二位	(岩手県) (愛媛県) (福島県) (大分県) (広島県) (大分県)
第 13 回 (昭和53年10月29日) 鹿児島県 鹿児島県立体育館	一位 鹿児島県 二位 山口県 三位 神奈川県	七段 一位 山国 下貞 二位 上国 料修 六段 一位 七五 三掛保 二位 佐春 伯名 孝松 五段 一位 春 名 松男 二位	(福岡県) (山口県) (鹿児島県) (神奈川県) (山口県) (岡山県)
第 14 回 (昭和54年10月28日) 神奈川県 箱根小涌園グリーンパレス体育館	一位 神奈川県 二位 山口県 三位 広島県	七段 一位 石国 堂倭 二位 井手 克彦 六段 一位 佐伯 孝耕 二位 畠山 耕春 五段 一位 畠 春美 二位	(神奈川県) (山口県) (広島県) (山口県) (神奈川県) (大阪府)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 15 回 (昭和55年10月26日) 愛 媛 県 愛媛県総合運動公園体育館	一位 愛 媛 県 二位 山 口 県 三位 大 阪 府	七段 一位 国 田 一 直 二位 谷 村 迪 三位 西 川 晴 四位 佐 伯 毅 五位 宇 宮 男 六位 春 名 松 七位 孝 松 八位 毅 男	(山 口 県) (愛 媛 県) (愛 媛 県) (山 口 県) (愛 媛 県) (岡 山 県)
第 16 回 (昭和56年10月25日) 茨 城 県 東町運動公園体育館	一位 茨 城 県 二位 山 口 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 小 林 雄 二位 国 関 一 三位 関 井 弘 四位 井 宮 彦 五位 中 手 幸 六位 垣 孝 七位 忠 孝 八位 孝 孝	(茨 城 県) (山 口 県) (茨 城 県) (広 島 県) (茨 城 県) (山 口 県)
第 17 回 (昭和57年10月24日) 福 岡 県 福岡市民体育館	一位 山 口 県 二位 福 岡 県 三位 岡 山 県	七段 一位 波 止 成 徳 二位 奥 田 富 蔵 三位 佐 藤 四 四位 中 村 十 五位 中 笹 郎 六位 笹 孝 七位 孝 美	(福 岡 県) (北 海 道) (岡 山 県) (東 京 都) (山 口 県) (大 阪 府)
第 18 回 (昭和58年 8 月28日) 北 海 道 道立札幌中島体育センター別館	一位 北 海 道 二位 山 口 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 奥 井 田 富 蔵 二位 井 手 山 克 彦 三位 畠 山 耕 吉 四位 柳 沢 一 五位 中 坂 孝 六位 坂 郎 七位 孝 郎	(北 海 道) (広 島 県) (神 奈 川 県) (福 岡 県) (山 口 県) (東 京 都)
第 19 回 (昭和59年10月 7 日) 山 口 県 山口県スポーツ文化センター	一位 山 口 県 二位 広 島 県 三位 大 阪 府	七段 一位 井 手 克 彦 二位 石 堂 孝 三位 中 垣 郎 四位 好 永 夫 五位 塩 満 男 六位 川 西 七位 孝 郎	(広 島 県) (神 奈 川 県) (山 口 県) (高 知 県) (山 口 県) (大 阪 府)
第 20 回 (昭和60年10月 6 日) 沖 縄 県 沖縄市営体育館	一位 沖 縄 県 二位 山 口 県 三位 東 京 都	七段 一位 河 口 俊 彦 二位 波 止 成 徳 三位 仲 井 間 兎 四位 中 垣 孝 五位 甲 斐 二 六位 前 田 和 七位 孝 二	(山 口 県) (福 岡 県) (沖 縄 県) (山 口 県) (宮 崎 県) (愛 知 県)
第 21 回 (昭和61年10月26日) 新 潟 県 新潟市体育館	一位 新 潟 県 二位 東 京 都 三位 山 口 県	七段 一位 三 谷 昭 雄 二位 佐 藤 四 三位 草 間 十 四位 塩 満 秀 五位 石 塚 敏 六位 金 田 和 七位 久 和	(高 知 県) (岡 山 県) (新 潟 県) (山 口 県) (新 潟 県) (東 京 都)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 22 回 (昭和62年10月4日) 高 知 県 県立春日野総合運動公園体育館	一位 高 知 県 二位 岡 山 県 三位 東 京 都	七段 一位 三 井 谷 昭 雄 二位 野 手 克 彦 六段 一位 春 島 信 彦 二位 春 名 松 彦 五段 一位 松 田 忠 男 二位 金 田 久	(高 知 県) (広 島 県) (高 知 県) (岡 山 県) (高 知 県) (東 京 都)
第 23 回 (昭和63年10月9日) 大 阪 府 大 阪 府 立 体 育 館	一位 大 阪 府 二位 山 口 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 井 手 克 彦 二位 春 名 松 彦 六段 一位 東 末 秀 治 二位 塩 金 本 和 夫 五段 一位 金 本 雅 昭 二位	(広 島 県) (岡 山 県) (大 阪 府) (山 口 県) (東 京 都) (大 阪 府)
第 24 回 (平成元年10月15日) 愛 知 県 名古屋市露橋スポーツセンター	一位 東 京 都 二位 鹿 児 島 県 三位 岡 山 県	七段 一位 春 名 松 男 二位 三 金 田 和 久 六段 一位 前 桑 利 正 二位 桑 是 枝 幸 也 五段 一位	(岡 山 県) (高 知 県) (東 京 都) (愛 知 県) (東 京 都) (鹿 児 島 県)
第 25 回 (平成2年10月14日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 山 口 県 三位 鹿 児 島 県	七段 一位 副 島 學 二位 佐 藤 四 十 六段 一位 金 田 和 二位 宇 佐 川 一 五段 一位 高 木 信 二位 原 田	(東 京 都) (岡 山 県) (東 京 都) (山 口 県) (山 口 県) (山 形 県)
第 26 回 (平成3年10月13日) 宮 城 県 仙 台 市 体 育 館	一位 東 京 都 二位 宮 城 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 鈴 木 佐 三 二位 柳 澤 一 久 六段 一位 金 田 美 二位 平 野 悟 五段 一位 桑 田 彦 二位 佐 々 木	(宮 城 県) (福 島 県) (東 京 都) (神 奈 川 県) (東 京 都) (宮 城 県)
第 27 回 (平成4年10月18日) 東 京 都 東 京 武 道 館	一位 東 京 都 二位 神 奈 川 県 三位 福 岡 県	七段 一位 吉 川 亀 二位 平 野 美 六段 一位 桑 田 悟 二位 横 小 隆 五段 一位 小 川 生 二位 石 井 澄	(東 京 都) (神 奈 川 県) (東 京 都) (北 海 道) (福 岡 県) (大 分 県)
第 28 回 (平成5年10月31日) 福 岡 県 九 電 記 念 体 育 館	一位 福 岡 県 二位 神 奈 川 県 三位 岡 山 県	七段 一位 井 手 友 太 二位 春 桑 名 正 六段 一位 堀 田 征 二位 小 川 泰 五段 一位 森 島 一 二位	(福 岡 県) (岡 山 県) (東 京 都) (福 岡 県) (福 岡 県) (神 奈 川 県)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 29 回 (平成 6 年10月30日) 埼 玉 県 秩父市文化体育センター	一位 東 京 都 二位 福 岡 県 三位 埼 玉 県	七段 一位 金 平 田 和 久 二位 野 政 弘 六段 一位 桑 田 正 悟 二位 横 田 清 隆 五位 一位 小 川 内 泰 生 二位 佐 藤 信 一	(東 京 都) (茨 城 県) (東 京 都) (北 海 道) (福 岡 県) (宮 城 県)
第 30 回 (平成 7 年10月22日) 熊 本 県 熊本市総合体育館	一位 熊 本 県 二位 新 潟 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 草 間 淳 孝 二位 大 群 和 六段 一位 谷 田 文 二位 石 井 豊 五位 一位 木 村 久 二位 森 島 一	(新 潟 県) (熊 本 県) (高 知 県) (大 分 県) (熊 本 県) (神 奈 川 県)
第 31 回 (平成 8 年10月20日) 石 川 県 松任総合運動公園文化体育館	一位 東 京 都 二位 神 奈 川 県 三位 石 川 県	七段 一位 金 平 田 和 久 二位 野 池 小 久 六段 一位 保 久 市 二位 川 中 五位 一位 嶋 中 二位 英 二	(東 京 都) (神 奈 川 県) (大 阪 府) (大 分 県) (東 京 都) (宮 城 県)
第 32 回 (平成 9 年10月19日) 鹿 児 島 県 鹿 児 島 ア リ ー ナ	一位 鹿 児 島 県 二位 東 京 都 三位 神 奈 川 県	七段 一位 金 中 田 和 久 二位 是 枝 正 人 六段 一位 小 川 幸 生 二位 内 松 泰 夫 五位 一位 乗 島 道 信 二位 村 松 之	(東 京 都) (石 川 県) (鹿 児 島 県) (福 岡 県) (愛 媛 県) (茨 城 県)
第 33 回 (平成10年10月17日) 広 島 県 広島県立総合体育館	一位 広 島 県 二位 東 京 都 三位 北 海 道	七段 一位 金 井 田 和 久 二位 国 方 友 太 六段 一位 森 市 孝 二位 柏 原 忠 五位 一位 田 川 啓 二位 原 学 壮	(東 京 都) (福 岡 県) (広 島 県) (京 都 府) (東 京 都) (広 島 県)
第 34 回 (平成11年10月23日) 山 形 県 山形県総合運動公園体育館	一位 山 形 県 二位 東 京 都 三位 福 岡 県	七段 一位 原 井 田 廣 太 二位 鈴 手 一 友 六段 一位 森 木 清 二位 関 田 忠 展 五位 一位 鈴 木 秀 亨 二位 鈴 木 亨	(山 形 県) (福 岡 県) (山 形 県) (京 都 府) (茨 城 県) (山 形 県)
第 35 回 (平成12年10月21日) 大 分 県 大分県立総合体育館	一位 大 分 県 二位 神 奈 川 県 三位 福 岡 県	七段 一位 久 保 純 一 二位 井 手 友 隆 六段 一位 小 坂 一 二位 森 島 廣 五位 一位 村 木 秀 二位 島 田 秀	(大 分 県) (福 岡 県) (大 分 県) (神 奈 川 県) (北 海 道) (山 梨 県)

大会	団体試合成績	個人試合成績	(都道府県名)
第 36 回 (平成13年10月20日) 山 梨 県 小瀬スポーツ公園武道館	一位 山 梨 県 二位 茨 城 県 三位 大 分 県	七段 一位 津 金 政 雄 二位 東 口 末 治 六段 一位 小 坂 隆 一郎 二位 森 坂 恒 世 五位 一位 島 本 秀 男 二位 関	(山 梨 県) (大 阪 府) (大 分 県) (高 知 県) (山 梨 県) (茨 城 県)
第 37 回 (平成14年10月19日) 大 阪 府 大阪市中央体育館	一位 大 阪 府 二位 神 奈 川 県 三位 大 分 県	七段 一位 東 口 末 治 二位 高 野 一 郎 六段 一位 森 島 機 一郎 二位 小 坂 隆 一 五位 一位 野 中 克 高 二位	(大 阪 府) (島 根 県) (神 奈 川 県) (大 分 県) (大 阪 府) (宮 崎 県)
第 38 回 (平成15年10月18日) 埼 玉 県 秩父市文化体育センター	一位 埼 玉 県 二位 大 分 県 三位 鹿 児 島 県	七段 一位 小 野 澤 隆 一 二位 高 野 一 郎 六段 一位 小 宮 山 坂 一 二位 小 柳 川 本 雅 五位 一位 丸	(埼 玉 県) (島 根 県) (埼 玉 県) (大 分 県) (埼 玉 県) (大 阪 府)
第 39 回 (平成16年10月16日) 宮 崎 県 宮 崎 県 武 道 館	一位 宮 崎 県 二位 埼 玉 県 三位 兵 庫 県	七段 一位 片 貝 知 明 二位 光 行 良 一 六段 一位 鈴 木 保 邦 二位 小 宮 山 村 已 五位 一位 中 柳 達 淳 二位	(宮 崎 県) (大 阪 府) (宮 崎 県) (埼 玉 県) (宮 崎 県) (埼 玉 県)
第 40 回 (平成17年10月15日) 千 葉 県 千葉ポートアリーナ	一位 千 葉 県 二位 埼 玉 県 三位 神 奈 川 県	七段 一位 與 島 宏 二位 森 島 機 六段 一位 秋 葉 行 二位 関 瀬 秀 五位 一位 川 西 毅 二位 野 孝	(千 葉 県) (神 奈 川 県) (千 葉 県) (茨 城 県) (千 葉 県) (大 分 県)
第 41 回 (平成18年10月21日) 北 海 道 北海道立総合体育センター	一位 千 葉 県 二位 北 海 道 三位 神 奈 川 県	七段 一位 與 島 宏 二位 森 島 機 六段 一位 関 山 秀 二位 山 崎 司 五位 一位 川 古 毅 二位 野 耕 一	(千 葉 県) (神 奈 川 県) (茨 城 県) (静 岡 県) (千 葉 県) (北 海 道)
第 42 回 (平成19年10月20日) 岡 山 県 岡山県体育館桃太郎アリーナ	一位 岡 山 県 二位 神 奈 川 県 三位 千 葉 県	七段 一位 山 洪 数 二位 森 島 一 六段 一位 菊 元 富 二位 秋 葉 広 五位 一位 原 田 宏 二位 笠 原	(岡 山 県) (神 奈 川 県) (岡 山 県) (千 葉 県) (神 奈 川 県) (北 海 道)

大 会	団 体 試 合 成 績	個 人 試 合 成 績	(都道府県名)
第 43 回 (平成20年10月25日) 宮 城 県 仙 台 市 体 育 館	一位 宮 城 県 二位 千 葉 県 三位 静 岡 県	七段 一位 佐々木 幹彦 二位 秋山 卓 六段 一位 山崎 司 二位 赤塔 徹 五段 一位 広瀬 祐 二位 氏平 正	(宮 城 県) (千 葉 県) (静 岡 県) (宮 城 県) (長 崎 県) (千 葉 県)
第 44 回 (平成21年10月24日) 長 崎 県 島 原 復 興 ア リ ー ナ	一位 長 崎 県 二位 神 奈 川 県 三位 新 潟 県	七段 一位 森 島 一 機 二位 月 見 一 博 六段 一位 山崎 司 二位 高木 伸 五段 一位 広瀬 祐 二位 今井 之	(神 奈 川 県) (長 崎 県) (静 岡 県) (長 崎 県) (長 崎 県) (新 潟 県)
第 45 回 (平成22年10月23日) 新 潟 県 新 潟 市 東 総 合 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	一位 新 潟 県 二位 神 奈 川 県 三位 千 葉 県	七段 一位 品 田 峯 雄 二位 森 利 一 六段 一位 世原 慎 二位 原 恒 五段 一位 今岡 誠	(新 潟 県) (神 奈 川 県) (福 岡 県) (神 奈 川 県) (新 潟 県) (岡 山 県)
第 46 回 (平成23年10月22日) 愛 媛 県 愛 媛 県 武 道 館	一位 愛 媛 県 二位 神 奈 川 県 三位 埼 玉 県	七段 一位 菊 池 達 也 二位 山 崎 卓 司 六段 一位 宇都宮 聡 二位 都 宮 渡 五段 一位 原 志 二位 乘平 樹	(愛 媛 県) (静 岡 県) (愛 媛 県) (神 奈 川 県) (愛 媛 県) (神 奈 川 県)
第 47 回 (平成24年10月20日) 静 岡 県 静 岡 県 武 道 館	一位 静 岡 県 二位 福 岡 県 三位 新 潟 県	七段 一位 山 崎 卓 司 二位 小 坂 隆 一 六段 一位 松 下 武 人 二位 原 大 渡 五段 一位 大井 和 二位 井手 太郎	(静 岡 県) (大 分 県) (静 岡 県) (神 奈 川 県) (新 潟 県) (福 岡 県)
第 48 回 (平成25年10月12日) 大 分 県 べ っ ぷ ア リ ー ナ (別 府 市 総 合 体 育 館)	一位 大 分 県 二位 神 奈 川 県 三位 福 島 県	七段 一位 小 坂 隆 一 二位 関 原 秀 六段 一位 原 大 渡 二位 大 友 介 五段 一位 大乗 和 二位 志	(大 分 県) (茨 城 県) (神 奈 川 県) (大 分 県) (大 分 県) (愛 媛 県)
第 49 回 (平成26年10月25日) 福 島 県 あ づ ま 総 合 運 動 公 園 (県 営 あ づ ま 総 合 体 育 館)	一位 福 島 県 二位 福 岡 県 三位 東 京 都	七段 一位 井 上 貴 宏 二位 馬 場 清 治 六段 一位 塩 見 夫 二位 大 西 和 五段 一位 佐久間 聡 二位 井手 太郎	(福 島 県) (福 岡 県) (福 岡 県) (新 潟 県) (福 島 県) (福 岡 県)

大会	団体試合成績	個人試合成績	(都道府県名)
第 50 回 (平成27年10月17日) 福岡県 アクション福岡	一位 福岡県 二位 東京都 三位 神奈川県	七段 一位 馬場清 治聡 二位 宇都宮輝 六段 一位 末次田真 二位 吉井田烈 五段 一位 井山手郎 二位 山田学	(福岡県) (愛媛県) (福岡県) (東京都) (福岡県) (東京都)
第 51 回 (平成28年10月22日) 東京都 東京武道館	一位 東京都 二位 神奈川県 三位 京都府	七段 一位 桑田孝 博 二位 原田田渡 六段 一位 吉田真 澄 二位 ブライヤー・ボウ 五段 一位 山田学 二位 石橋剛	(東京都) (神奈川県) (東京都) (京都府) (東京都) (京都府)
第 52 回 (平成29年10月21日) 広島県 広島サンプラザ	一位 広島県 二位 新潟県 三位 神奈川県	七段 一位 宮脇誠 吾 二位 原田松渡 六段 一位 乘大志 二位 大草恵 五段 一位 戒間介 二位 能大幸	(広島県) (神奈川県) (愛媛県) (新潟県) (新潟県) (広島県)
第 53 回 (平成30年10月20日) 茨城県 茨城県武道館	一位 茨城県 二位 神奈川県 三位 東京都 三位 京知県 三位 福岡県	七段 一位 関都宮 展 秀 二位 宇都宮野陵 六段 一位 中野馬良 二位 相安藤和 五段 一位 安山一 二位 山本希亮	(茨城県) (愛媛県) (神奈川県) (栃木県) (香川県) (静岡県)
第 54 回 (2019 年 10 月 19 日) 高知県 高知県民体育館	一位 高知県 二位 新潟県 三位 東京都	七段 一位 丸岡昭 仁 二位 宇都宮口平 六段 一位 圓岩貴 二位 岩井正 五段 一位 亀井美 二位 小山聖二	(高知県) (愛媛県) (東京都) (高知県) (高知県) (埼玉県)
第 55 回 (令和 2 年10月17日) 石川県 いしかわ総合スポーツセンター	新型コロナウイルス感染症拡大の為中止		
第 56 回 (令和 3 年10月 9 日) 東京都 東京武道館	一位 二位 三位	七段 一位 二位 六段 一位 二位 五段 一位 二位	() () () () () ()

全日本居合道大会観戦の手引き

—居合道の歴史と現代におけるその意義—

【居合道の歩み】

剣術は鞘から刀を抜いた状態から敵と相対します。居合（抜刀術）は突然敵に襲われたような場合、咄嗟に鞘より抜刀して自分の身を護るための術で、戦国時代にさかのぼる古い実践的な武術です。居合の始祖といわれる林崎甚助重信^{はやしごきじんすけしげのぶ}が伝えた神夢想林崎流は、その後多くの流派に分かれ、一宮流、水鷗流^{すいおう}、田宮流、関口流、長谷川英信流、大森流、伯耆流^{ほうき}など20数流派を生み出しました。

明治9年に廃刀令が出され、剣術は衰退していき、かつて70余派あったといわれる居合の流派も20余りとなりました。武道振興のために明治28年大日本武徳会が設立されました。のちに剣道・居合道・杖道三道の範士となり、居合道中興の祖と言われた中山博道は土佐に赴き、無双直伝英信流を学びました。中山はこれに独自の工夫を重ね、夢想神伝流と呼ばれる新しい流派の基礎を築き、無双直伝英信流とともに、現在日本で最大の流派をなしています。

【古流と全日本剣道連盟居合の誕生】

終戦の昭和20年、武道はGHQによって全面的に禁止されましたが、昭和27年、全日本剣道連盟が結成されて剣道は復活し、昭和31年には居合道が全日本剣道連盟の傘下に入りました。昭和40年代に入り、少年剣道ブームとともに剣道のスポーツ化は著しく、全日本剣道連盟は武道としての剣道の精神を守り伝えるべく、昭和44年、「全日本剣道連盟居合」を制定しました。俗に「制定居合」と呼ばれています。

これは本来、剣道高段者に剣道の原点である日本刀の基礎的な取り扱い方、正しい刀法を学んでもらうために、「古流」と呼ばれる古くから伝わる居合道各流派のエッセンスを集大成し、7本の形にまとめたものです。しかし、実際には剣道家の間にはあまり普及せず、むしろ居合道を学ぶ人たちの間に広く浸透していきました。

「全日本剣道連盟居合」という共通の形が生れたことにより、全国どこでも統一された形を学ぶことができるようになり、審査や試合も流派を超えた交流が可能となり、その後の居合道の普及発展に大きな役割を果たしました。昭和55年には従来の7本に加えて新たに3本が、平成12年にはさらに2本が追加され、現在12本となっています。

【現代における居合道修練の意義】

居合道人口、ことに女性や海外における愛好者数の増加は著しいものがあります。その理由の一つは、日本刀の持つ魅力にもよるでしょうが、居合道の持つ深い精神性にあるといってもよいでしょう。現代の平和な日本において、刀で人を切る業を学ぶ居合道にどのような意味があるのでしょうか。

居合の極意は「鞘の内^{さやうち}（鞘から刀を抜かないこと）」といわれています。刀はいったん抜いてしまえば、必ずどちらか、あるいは双方が命を落とすか傷つくことになるでしょう。居合道修行の最終目的は、相手との無益な争いを避け、刀を抜かずして勝ちを収める和の精神にあります。そのためには、相手に刀を抜かせないだけの人間としての品格、気位が求められます。これこそ全日本剣道連盟が武道修行の最終目的として掲げている人間形成の道に他なりません。

刀を振ることは手段であって、決して目的ではありません。剣を手にして修練を重ねてゆく内に、自然と美しい立ち居振る舞い、礼法と呼ばれる他者を大切に思いやる心が養われます。また残心と

呼ばれる、「もののあわれ」を知る感性豊かな心が育まれてゆきます。「^{じきしんこれどうじょう}直心是道場」といわれるように、稽古は道場の中だけでなく、家の中でも職場でも、刀を手にはせずとも可能です。また逆に、稽古を通して身に着けた豊かな人間性は、道場の中にとどまらず、日常生活の場に生かされ、社会に還元されねばなりません。これこそ現代における武道修業の意義ではないでしょうか。

【居合道試合観戦のために】

居合道は一般的には初心の段階では、真剣を模して造られた切れない安全な模擬刀を用いて稽古しますが、四、五段程度以上のレベルになると、刃の立った切れる真剣を用います。模擬刀にせよ真剣にせよ、実際に相手と打ち合うことはできませんから、実戦で起こりうる様々な場面を想定して作られた形を、仮想敵を相手として稽古します。試合は紅白のコートに分かれ、指定された業を対戦するふたりが同時に抜きます。3名の審判が優劣を判断し、自旗が2本以上揚げた方が勝ちとなります。本大会は、制限時間（6分）内で、当日指定される5本の業前によって争われます。

居合道には自分が切られて負けるという想定はありません。必ず自分が勝つことになっています。定められた形を型どおり行っただけでは何の緊張感もなく、かたちばかりの踊りになってしまいます。真の武道たるには、実際に敵が眼前にいるかのごとく仮想敵と戦うことが大切で、それは生きた「目付」に現れます。

また居合はただ早く抜けばよいというものでもありません。居合道の目的は人を殺すことではなく、生かすことにあります。刀は人を切るだけの殺人刀であってはならず、破邪顕正の活人剣でなければなりません。観戦していて、思いのほか刀に手をかけてから抜き付けるまで、あるいは振りかぶってから切り下すまでゆっくりしているなど感じた人も多いのではないのでしょうか。まさに敵が切りかかろうとしても、最後の瞬間まで「抜くな、抜かすな」という気持ちで相対し、「^{ぬきつけ}抜付」の一刀の後、もし相手が参ったという態度を示せば、あえて切る必要はありません。それでも、どうしても歯向かうようであれば、止む無くとどめの一刀を加えて成仏させるという気持ちがそこに表現されています。

命がけのぎりぎりの場でも、冷静さを失わず、相手に対する思いやりを忘れないだけの度量と高い人間性が求められています。すべてが終わった後、刀に付いた血を振り落す「^{ちぶ}血振り」、続いて刀を鞘に納める「^{のうとう}納刀」が行われますが、この間、一瞬たりとも姿勢が崩れ、残心が乱れてはいけません。この動から静に移る一瞬の沈黙の^ま間は、能の舞台における「せぬひま」に対比され、居合道の精神性を最もよく示す瞬間でもあり、見どころの一つです。

剣道と居合道は本来ひとつであり、「剣居一体」といわれてきました。両者は本質的には何ら異なるところはありません。居合道は実際に打った、打たれたということがない分、勝負にこだわる必要がないので、それだけ、理想の剣理を追求しやすいともいえます。(1) 美しい礼法・着装・姿勢 (2) 理に適った剣のさばき・足さばき・体の運用 (3) 正しい手の内や刃筋・鎧の使い方 (4) 残心・目付・呼吸法 (5) 品格、気位など多くの見どころがあります。

全日本居合道大会は、各都道府県より選抜された五段、六段、七段の各1名、計3名が1チームとなって、段別に分かれて覇を競います。観戦者の皆様はそれぞれの関心にしがたって、例えば、体さばきに、残心に、品格にといった具合に、見どころを絞ってご覧いただければ、一層興味も増すことでしょう。最後まで居合道の世界をご堪能いただければ幸いです。

全日本居合道都道府県対抗優勝試合要領

試合方法について

1. 各連盟の代表3選手を、各段毎、3試合場に分けて抽選し、トーナメント方式により試合を行い、各段毎に第一位、第二位を決める。
2. 勝者（不戦勝も含む）には、勝つごとに1点を与え、各連盟選手3名の得点（勝数）の合計数を以って団体成績を決定する。
但し、団体一位が同点の場合には、各々3選手の勝旗数により決定する。
勝旗数が同本数の場合は、代表者戦により決定する。（段位は、抽選による）
二位以下同点の場合も同じ。不戦勝には、勝旗3本を与える。
3. 演技の本数
 - （1） 試合時間は、技5本を6分以内とする。主審の「始め」の宣告から、正面の礼を終了し、携刀姿勢までとする。
 - （2） 前項の本数のうち先に古流2本を抜き、後に全剣連居合3本を抜くものとする。
 - （3） 全剣連居合の指定技については、大会当日、審判長より発表することとし、準決勝以上については、指定技を変えることもある。
 - （4） 古流2本については、自由。（各回戦毎に変える必要はない）
4. 試合者の進退
 - （1） 試合者は、プログラム順により所定の試合場において待機し、呼び出しに応じて遅滞なく所定の位置につき、待機線にて相互の礼をしたのち、開始線の位置につく。主審の「始め」の宣告で試合を行う。
 - （2） 正面への礼および刀礼は、演武の中に含まれるものとする。
（刀礼は全剣連居合による）
 - （3） 試合者は、演武を終えたのち（刀礼および正面への礼ののち）正面を向いて携刀姿勢で判定の宣告を待つ。
 - （4） 判定の宣告後、試合者は待機線で互いに向きあって礼を行い退場する。
 - （5） 試合者の服装は、剣道着または居合道着・袴を着用すること。
 - （6） 各自、剣道着または居合道着の左胸部に名札をつけること。（要項参照）
 - （7） 試合には大刀（真剣）を用いること。登録証は必ず携行すること。※当日各試合場において各段の代表選手は自身の1回戦までに刀剣検査を受けること。

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)
令和3年7月5日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長 稲川 泰弘	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007

地方代表団体	会 長	〒	事 務 局 所 在 地	電 話	F A X
(一財)北海道剣道連盟	藤 井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663	(820)1662・1663
青森県 〃	増 田 知 幸	030-0903	青森市栄町1-7-8	017(764)0340	(764)0340
秋田県 〃	目 黒 大 作	010-0914	秋田市保戸野千代田町14-12 SAKAEビル2F B室	018(883)0680	(883)0663
山形県 〃	安 部 美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県 〃	小笠原 宏 志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県 〃	井 上 雅 勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県 〃	長谷川 弘 一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県 〃	小 倉 培 夫	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県 〃	白 石 正 範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県 〃	小 林 一 隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県 〃	山 中 茂 樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都 〃	千 葉 胤 道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県 〃	忍 足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県 〃	小 林 英 雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県 〃	渡 邊 宏 一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県 〃	浅 原 行 雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県 〃	南 信 廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県 〃	牧 田 稔	939-8076	富山市太郎丸2区77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県 〃	片 山 外 一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県 〃	加 瀬 浩 明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県 〃	吉 村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県 〃	大 嶽 將 文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県 〃	堤 俊 彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県 〃	岡 田 一 義	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県 〃	中 野 正 堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府 〃	伊 吹 文 明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府 〃	長 榮 周 作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県 〃	吉 田 克 法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県 〃	世 耕 弘 成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県 〃	河 野 修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県 〃	山 本 晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県 〃	林 正 夫	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県 〃	中 西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
鳥取県 〃	岸 田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県 〃	高 木 弘 伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
香川県 〃	三 原 悦 男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県 〃	俊 野 徹 人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県 〃	渡 邊 三 則	780-0026	高知市秦南町1-5-12 恒石章彦方	088(871)5184	(871)5184
徳島県 〃	藤 川 和 秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県 〃	青 柳 俊 彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県 〃	江 島 良 介	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県 〃	松 尾 博 行	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県 〃	安 部 正 定	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
熊本県 〃	尾 方 正 照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県 〃	橋 口 光 博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県 〃	俣 木 正 喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県 〃	親 川 光 俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和3年9月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
竹刀 — 剣道の発展を支えた竹刀の歩み — DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ エンジ(S、M、L、LL)	¥2,500	170	20
ぶししTシャツ 白(S、M、L、LL)	¥2,500	263	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

* 品物はすべて消費税込みとなります。

* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1) インターネットからのお申し込み……<https://zenkenren-shop.com>

(2) F A Xでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へF A Xして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧F A X番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のF A Xを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅 配 便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便…(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

月刊 剣 窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

祝

第56回全日本居合道大会

選手皆様のご健闘を
お祈り致します



一般財団法人 **東京都剣道連盟**

会 長	千 葉 胤 道
副 会 長	太 田 健一郎
〃	久保木 優
専務理事	安 部 壽 和
事務局長	猪 狩 保 光

祝

第56回全日本居合道大会

選手皆様のご健闘を
お祈り致します。

(一財)東京都剣道連盟
居 合 道 部 会

会 長 伊 藤 繁 男

副 会 長 畠 中 篤 美

副会長兼専務理事 平 澤 利 明

副 会 長 金 田 和 久

事 務 局 長 古 川 茂 一

外 部 会 員 一 同

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-24-5-2F

T E L (03) 5812-9633

F A X (03) 5812-9634

MAIL iaido@waltz.ocn.ne.jp

<http://www.tokenreniaido.com/>

八王子市居合道連盟

会 長	伊藤 繁男	無外流
副会長・理事長	塚本 溢己	夢想神伝流
副会長	池田 哲郎	無外流
副会長	望月 族治	無外流

事務局 TEL:090-5440-2762 (森本 仁方)

流派 無外流・夢想神伝流

稽古場所 一誠館道場（八王子市剣道連盟道場）
TELandFAX: 042-663-1274(稽古時間のみ)

稽古日 毎週 水曜日 午後6時30分～9時30分
毎週 土曜日 午後6時30分～9時30分

ホームページ <https://hachioji-iaido.jimdofree.com>
問い合わせ ホームページ内フォーム

祝

第56回全日本居合道大会

新宿居合道同好会

無双直伝英信流 篤志会

会長 教士八段

畠中 篤美

稽古日時

- ・ 月、水曜日 18:00～21:00 四谷ひろば
- ・ 土、日曜日 13:00～15:00 四谷ひろば

事務局連絡先

- | | |
|-------------|---|
| ・ 担当者 | 小野 桃子 |
| ・ 電話番号 | 090-9839-8661 |
| ・ 事務局E-Mail | tokushikai.iai@gmail.com |
| ・ 問合せE-Mail | info@atsumidojo.net |
| ・ URL | http://atsumidojo.net |

祝

第56回 全日本居合道大会

選手皆様の御健闘を
お祈りいたします

府中市 居合道連盟

夢想神伝流

会 長	平 澤	利 明
副 会 長	長 野	幸 業
副 会 長	河 原	達
理 事 長	小 湊	芳 晴
顧 問	並 木	孝

【事務局】 小湊 芳晴 東京都府中市押立町1-10-20

電話 & FAX 042-334-3812

【主な稽古場】 府中市総合体育館 第2武道場

【ホームページ】 <http://www.iai-fuchu.tokyo/>

(QRコードからアクセス出来ます)



祝 第 56 回全日本居合道大会

大会のご盛会と皆様のご健闘をお祈り致します

TOKYO IAIDO KIYOSE

夢想神伝流居合 金田一門会
東京都剣道連盟居合道部会清瀬支部
師範：金田 和久 Kazuhisa Kaneda

祝 第56回 全日本居合道大会 板橋区剣道連盟 居合道部会

会 長 桑 田 孝 博

事務局 浅井 正章

〒173-0037

東京都板橋区小茂根3-4-15 薫風館道場

TEL 090-7001-7285 (浅井)

祝 第56回 全日本居合道大会 薫 風 館 道 場

館長 教士八段 桑 田 孝 博

稽古日 水曜 12:00～14:30

土曜 14:00～16:30

日曜 9:30～12:00

東京都板橋区小茂根3-4-15 薫風館道場

TEL 090-9802-7637

東京都剣道連盟居合道部会 台東支部

理 事 平 舘 勝 紘

火曜稽古	財務省居合道部 本省西153号室 霞ヶ関下車 18時～
火曜稽古	三風会（田宮流） 忍岡中学講堂 18時半～ 鶯谷上野寄り駅前

台 東 居 合 道 研 究 会

水曜稽古	台東区下谷1-12-8 旧坂本小学校 日比谷線入谷・JR鶯谷下車8分 18時～
金曜稽古	寿こども園（不定期） 湯島・御徒町より錦糸町行きバス寿3丁目下車 19時～
月曜稽古	浅草橋区民館4階 浅草橋駅より7分 原則第1・3 18時～
会長＝真田晴人 理事長＝山縣繁晴 副会長＝杉本孝次・川田光博 副師範＝平舘七段 メール taito.iaido@gmail.com ホームページ https://taitoiaido.wixsite.com/kenkyukai	

台 東 士 道 会

木曜稽古	忍岡中学講堂 鶯谷駅上野寄り口前 18時半～20時半
月曜稽古	上野中学校 鶯谷駅徒歩7分 18時半～21時
会長＝大高幸雄 幹事長＝山口恭弘 会計＝屋代正三 事務長＝牧田龍一 電話03-3872-1510 山口	

居 合 道 雄 山 会

土曜稽古	我孫子市 根戸近隣センター 13時～17時 （火・木曜 夜自由稽古）北柏下車右へ 徒歩10分 会長＝斎数真人六段 副会長＝葛西正昭六段 会計＝佐々木力 ホームページ http://kashiwayuzankai.web.fc2.com
------	---

刀 水 会 居 合 道 部

日曜稽古	日吉台小学校（東急日吉下車 普通部通り直進7分）9時～12時 （木曜 夜間自由稽古） 会長＝山田 耕七段 副会長＝空中 摂六段 事務局＝外村 匡 メールアドレス tosuikai.iaido@gmail.com ホームページ http://tosuikai.web.fc2.com
------	---

江東区剣道連盟居合道部

稽古日 第一、第三、第五 月曜日
19時～21時

稽古場所 江東区スポーツ会館 一階剣道場
〒136-0073 東京都江東区北砂1-2-9

指導部長 鈴木 末子 Tel. 03-3650-4672

指導員 伊藤 學 Tel. 080-5477-6490

指導員 飯田 照夫 Tel. 03-3641-8982

事務局 〒135-0021 東京都江東区白河1-7-18-1410
大澤 良和 Tel. 090-3590-0815

杉並居合道部会

代表（評議員） 津村恵治

携帯電話 080-3122-0426 TEL&FAX 0429-44-6526

事務局 安生和之

〒167-0022 杉並区下井草4-32-17

携帯電話 090-5504-2905 TEL&FAX 03-5303-5766
mail blueman@blue.ocn.ne.jp

多摩西青梅居合道連盟

(多摩西地区青梅支部)

会 長 佐 久 間 健 (部会評議員)

副会長 鈴 木 保 (あきる野居合道会)

熊 谷 弘 (青梅市居合道会)

柴 田 敬 次 (羽村居合道会)

事務局 大 野 吉 紀

電話 042-555-0503

足立区居合道連盟

会 長 本多 正義 日本古武道居合研究会・蘆洲会

無雙直傳英信流 090-8510-9063

TEL・FAX 03-3606-8974

理 事 長 有 若 茂 東京伯耆流神武館

伯 耆 流 090-3217-1104

副理事長 山 口 敏 剣正会

夢想神伝流 090-1219-2252

事務局 石 塚 実 080-5048-4292 FAX 048-954-6902

多摩市居合道連盟

会 長 小倉 克之
事務局 太田 修司

電話 042-374-6302 (太田)
メールアドレス iai-tama@tama-iai.com
ホームページアドレス <http://www.tama-iai.com/>

部会	稽古日	稽古場所
多摩剣友会居合道部	毎週月曜日 19:30～21:30	多摩市立多摩第一小学校体育館
定例合同稽古	毎週火曜日 18:30～21:15	多摩市立武道館
木曜会	毎週木曜日 12:30～15:15	多摩市立武道館
豊ヶ丘剣友会居合道部	毎週土曜日 17:30～19:30	多摩市立落合中学校クラブハウス
ひかり剣志会居合道部	毎週日曜日 13:00～16:00	多摩市立瓜生小学校多目的ホール

一般財団法人 東京都剣道連盟居合道部会

中野支部

師範 伊藤知治 教士八段

事務局 酒井 幹夫 090-1699-1158

道場名	連絡先
中野道場	森田 有花里 080-6030-1563
東京修道館道場居合道部	池田 摩梨子 090-9959-9577
蓉武会	鈴木 容子 090-6123-8970
中野区居合道教室	橋爪 天 090-8649-4325
堅忍会稽古所	柳田 榮一 047-387-5661
春風館道場	東條 展 090-4951-7877

江戸川区剣道連盟 居合道部会

会 長 教士七段 小泉 尚 TEL 03-3653-4751

事務局 彦田きよ子 TEL/FAX 03-3680-6739 携帯 090-2765-0800

葛飾区剣道連盟居合道部会

顧問 範士八段 藤田 正
名誉会長 範士八段 田中 寛
会 長 教士八段 丸山 義明

〈稽古場所〉

毎週 火曜日 18：30～21：00

葛飾区総合スポーツセンター エイトホール

毎週 日曜日 9：30～11：30

葛飾区総合スポーツセンター 第二部道場

連絡先 丸山 義明

TEL・FAX 03-3657-7163

携帯電話 090-5580-8494

町田市剣道連盟 居合道部会 正念塾居合道部

稽古日：金曜19時より

代表者 細谷辰雄

TEL 042-754-5294

祝 第56回全日本居合道大会

夢想神伝流

誠 心 会

会 長 教士七段 関根 康幸

稽古日 水曜 13:00～16:00
土曜 9:00～12:00

稽古場所 東京都板橋区仲町36-6(斯道館)
TEL 090-8515-1159(関根)

夢想神伝流 薔清進館居合道会

一般財団法人東京都剣道連盟居合道部会立川支部

会 長 教士七段 トレント裕梨

師 範 教士八段 市川 学

稽古日時

毎週水曜日 立川市立第九小学校体育館 18:00～21:00

毎週日曜日 立川市立大山小学校体育館 13:30～16:30

連絡先：古川 茂一 042-537-2822

祝

第56回 全日本居合道大会

剣心館剣道道場

館 長 範士八段 藤田 正

稽古日 水、金曜日

時 間 午後6時～9時

〒125-0051 電話 03-3607-5848

東京都葛飾区新宿5-9-9 中川リバーサイド

剣心館親和会

代表幹事 島 博 範

幹 事 山 口 敏

濱 田 洋 子

夢想神伝流 尚 理 会

会 長 教士七段 小泉 尚 TEL 03-3653-4751

道 場 江戸川区松江第四中学校剣道場

稽古日 毎週木曜日 19：00 ～ 21：00

毎週日曜日 15：00 ～ 18：00

事務局 彦田きよ子

TEL/FAX 03-3680-6739

携帯 090-2765-0800

夢想神伝流 清 心 会

師範 金 田 和 久 理事 清 水 進

稽古日／毎週火・金曜日 19：00 ～ 21：00

道 場／大泉第二中学校 武道館

稽古日／毎週日曜日 18：30 ～ 20：00

道 場／南町小学校 体育館

事務局／練馬区石神井町6-20-12

TEL 03-3996-0374

祝 第56回 全日本居合道大会

警視庁居合道部

街とともに。人とともに。

FOR MORE COMMUNICATION

会	長	吉	森	裕	次
師	範	伊	藤	知	治
教	師	羽	田	順	一
事務局	長	鬼	久保	信	夫

memo

旬を彩る **四季** のおもてなし

特選仕出し弁当の四季



皆様に愛されて
創業37年

競技大会・団体様の仕出し弁当サービスやパーティー・イベントのケータリングサービスまで創業37年の安心と信頼の実績。美味しいお弁当をどんな会場にも安全にお届けします。ご予算に合わせたメニュー提案から会場へお届け、空き容器回収のアフターケアまでご対応致します。お茶などのお飲物(ジュース・ミネラルウォーターなど)のご用意もございますのでお気軽にご相談ください。



FAXからのご注文

カタログ請求はこちら

03-3675-5526

info@bento-shiki.co.jp



配送地域は都内から関東近郊まで
空き容器回収も承っております。
お気軽にご相談ください。

株式会社 四季 〒134-0081 東京都江戸川区北葛西5-7-1 TEL : 03-3675-5241 H.P : <http://www.bento-shiki.co.jp>



Japanese
Swords and
Supplies

濃州地方は鎌倉時代末期から刀の町として栄え
日本刀制作に深い歴史がある町です。
当店では居合道に使用する刀に、この伝統の技法を活用し、
品質の高い製品作りに務めております。
居合刀の選び方、刀の手入れ方法、修理、点検、
刀の正しい知識等についてお気軽にご相談下さい。

濃州堂

居合道専門店

Nosyudo

剣道形用(大刀・小刀)製作・刀身取り替え・修理・点検、承ります!



〒501-3252
岐阜県関市山王通 1-11-14
TEL 0575-22-2397
FAX 0575-22-2383
営業日、平日8時半～5時半 定休日、日曜・祭日
<https://www.nosyudo.jp/>

総合カタログ1部 500円
ご請求下さい(切手可)

日本美術刀剣
各種居合刀
専門店

美濃熊刀剣

〒
500
—
8457

岐阜市加納青藤町三一十九

☎ (〇五八)二七二—二七〇〇

FAX (〇五八)二七三—六二四七

祝 第56回 全日本居合道大会

武道用・美術用 刀剣専門店

刀剣はたや

刀剣はせ川



刀の買取り、メンテナンスもお任せ下さい

本日業者出展は中止になりましたが、刃音バランスの良い刀
が続々入荷しております。最新情報を HP でご確認ください。

商品番号	長さ	銘	元幅	先幅	重さ	樋	値段	その他	備考
イー①	78.9 2尺6寸	肥後国住赤松太郎兼幸作	32	25	980	有	65万	形	
イー②	75.8 2尺5寸	肥後国住赤松太郎兼幸作	32	25	1058	有	60万	形	
イー④	74.5 2尺4寸6分	安寿 平成25年10月吉日			1083	有	55万	形、斬り	
イー⑥	66.8 2尺2寸強	肥後国住赤松太郎兼照作	31	23	776	有	60万	形、軽量、短寸	
イー⑦	81.8 2尺7寸	肥後国住赤松太郎兼幸作	33	25	1037	有	65万	形長寸	
イー⑩	67.0 2尺2寸1分	肥後国住赤松太郎兼幸作	31	23	710	有	60万	形	
イー⑪	68.5 2尺2寸6分	肥後国住赤松太郎兼幸	31	23	717	有	60万	形	
イー⑭	72.5 2尺3寸9分	肥後国住赤松太郎兼裕作	平成28年2月吉日			有	60万	形	
イー⑰	70.9 2尺3寸1分	肥後国住赤松太郎兼照作	平成27年初春			有	60万	形	
ロー③	73.9 2尺4寸4分	大宮住井原輝日天造	平成2年10月吉日		930	有	50万	形	鏝、縁頭時代物
ハー③	69.4 2尺2寸9分	無銘 伝 冬広			920	有	55万	時代	
ハー④	68.3 2尺2寸5分5厘	備前長船上野大掾藤原祐定作				有	55万	時代 新々刀	
ハー⑤	74.6 2尺4寸6分	行長			1036	有	70万	保存協会 古刀 室町時代	
ハー⑦	73.8 2尺4寸4分	肥前国吉光				有	45万		
ハー⑧	77.0 2尺5寸4分	国信				有	55万	古刀 室町時代	
二③	77.1 2尺5寸4分	肥後国住赤松太郎兼幸作	平成28年5月吉日			有	60万	形	
二④	75.0 2尺4寸7分5厘	肥後国住赤松太郎兼照作	丙申年5月吉日			有	60万	形	
二⑥	73.7 2尺4寸4分	武州住介秀作				有	45万	形	
二⑦	71.3 2尺3寸5分	肥後国住赤松太郎兼照作	平成29年4月吉日			無	60万	試斬	大切先
二⑧	76.7 2尺5寸3分	肥後国住赤松太郎兼照作	丁酉年4月吉日			無	60万	試斬	大切先
ホー②	63.2	無銘				無	25万	試斬	錆・鞘あり現状
ホー⑦	71.3 2尺3寸5分	薩州住源盛篤作			837	有	34万	形	
ホー⑧	71.3 2尺3寸5分	武芸八幡兼則作			1002	有	38万	形	
ホー⑨	75.1 2尺4寸8分	兼房兼氏作			1047	有	65万	形	鞘本漆
ホー⑩	68.4 2尺2寸6分	濃州関住兼義作			1150	無	34万	試斬	溜塗鞘
ホー⑪	73 2尺4寸1分	加藤佑国作			1145	有	32万	形	
ホー⑫	71.1 2尺3寸5分弱	関住秀宗作			1098	無	44万	試斬	
ホー⑮	70.2 2尺3寸2分弱	無銘			905	有	32万	形	中古現状
ホー⑯	74.1 2尺4寸5分	兼道			980	有	47万	形	深彫 音良し
⑭	74 2尺4寸4分	安寿	32.6	25	1068	無	55万	試斬	幅広
⑯	73.4 2尺4寸2分	安寿	33.6	26.3	940	無	55万	試斬	
抜①	2尺2寸6分	肥後国住赤松太郎兼幸	平成28年5月吉日			無	65万	打下し	試斬仕様見本
抜②	74 2尺4寸4分	赤松太郎兼幸				無	33万	試斬	薄刃幅広

(外税価格) 控え付き

刀剣はたや 篠谷 三男 ・ 長谷川 康治 042-729-2022

刀剣はせ川 代表 長谷川 康治 090-8851-1598 HP



温故知新

古き良きを求め、新しきを知る

吸汗速乾性に優れた Uchimizu 生地が汗を味方にかえる 打ち水「風流」居合道衣・袴

打ち水 DRY の格子調生地を使用しており、今までと違った風合いの居合道衣。この軽量感！は、ストレッチ性のある生地で居合道の体捌きに対応でき、吸汗・速乾性にすぐれているため夏場や激しい稽古におすすめです。居合衣はおくみ付の筒袖型の着物仕立てで着クズレも起こり難くしており、袴は中ヒダ縫製を施すことで、たたみ易く洗濯後の型クズレも起こりにくいオススメの新感覚居合道衣・袴です。



特殊生地で静電気をシャットアウト 最高級ポリエステル居合道衣・袴

ソフトな肌触りと高級感溢れる光沢で居合の演武をより一層美しく引き立てる。生地に静電気防止用の糸（東レの超制電性裏地ルアナ）を縫いこみ静電気による嫌なまわりつきや、パチパチ音などの不快感を解消するだけでなく、ホコリもつきにくいので、いつも清潔でさわやかな着心地。糸の縫製から染めを国内の工場で行い、仕立て上げまで京都西陣の白社工房に行った東山堂人気の商品です。



品質第一
西陣仕立
伝統ある京都西陣にて製作

祝 第56回 全日本居合道大会



株式会社

東山堂

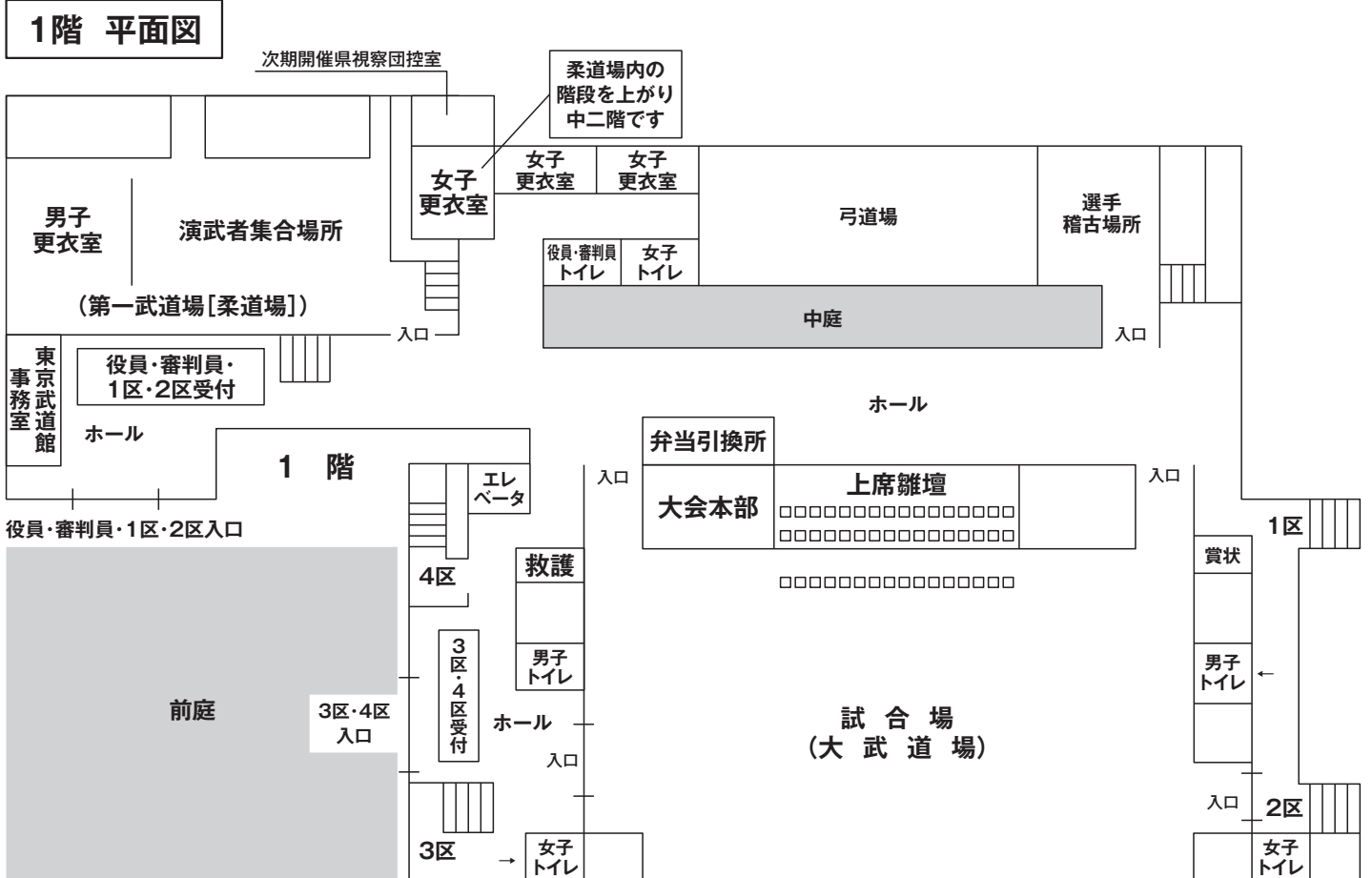
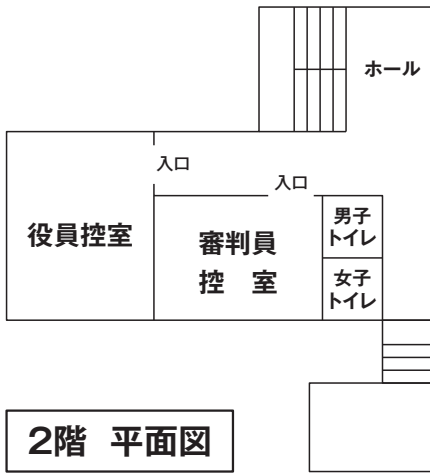
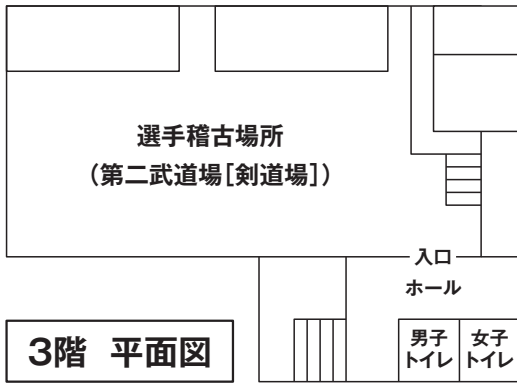
〒602-8205 京都市上京区新白水丸町 451-1
営業時間：平日10:00~19:00 土・日・祝日 9:00~18:00
京都駅から市バス 50 番系統 大宮中立売 下車 西へ 100m
<https://jp.tozando.com> FAX:075-432-1255

電話でのお申し込み **075-432-1669**

FAX でのお申し込み **077-531-2191**

オンラインショップ <https://tozando.net>

東京武道館館内見取り図



綾瀬駅より

私たちは《剣道》を応援しています

